

様式（評価機構フォーマット版）

令和6年度
自己評価報告書

（専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版）

令和7年4月25日

学校法人国際志学園 九州医療スポーツ専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価	1	5-16 就職等進路.....	91
基準 1 教育理念・目的・育成人材像【平均評定：4.0】	2	5-17 中途退学への対応.....	102
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	5-18 学生相談.....	113
基準 2 学校運営【平均評定：4.0】	4	5-19 学生生活.....	124
2-2 運営方針.....	5	5-20 保護者との連携.....	125
2-3 事業計画.....	6	5-21 卒業生・社会人.....	132
2-4 運営組織.....	7	基準 6 教育環境【平均評定：3.4】	143
2-5 人事・給与制度.....	8	6-22 施設・設備等.....	143
2-6 意思決定システム.....	9	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	150
2-7 情報システム.....	10	6-24 防災・安全管理.....	158
基準 3 教育活動【平均評定：3.8】	11	基準 7 学生の募集と受入れ【平均評定：4.0】	159
3-8 目標の設定.....	11	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	159
3-9 教育方法・評価等.....	22	7-26 入学選考.....	160
3-10 成績評価・単位認定等.....	33	7-27 学納金.....	161
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	44	基準 8 財務【平均評定：4.0】	162
3-12 教員・教員組織.....	55	8-28 財務基盤.....	162
基準 4 学修成果【平均評定：3.6】	66	8-29 予算・収支計画.....	163
4-13 就職率.....	66	8-30 監査.....	164
4-14 資格・免許の取得率.....	73	8-31 財務情報の公開.....	165
4-15 卒業生の社会的評価.....	81	基準 9 法令等の遵守【平均評定：4.0】	166
基準 5 学生支援【平均評定：3.6】	91	9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	166
		9-33 個人情報保護.....	167
		9-34 学校評価.....	168
		9-35 教育情報の公開.....	169

基準 10 社会貢献・地域貢献【平均評定：4.0】170

10-36 社会貢献・地域貢献170

10-37 ボランティア活動171

評定の基準)

評定 4 = 適切 (実施率 = 100%)

評定 3 = ほぼ適切 (実施率 = 50%以上 100%未満)

評定 2 = やや不適切 (実施率 = 25%以上 50%未満)

評定 1 = 不適切 (実施率 = 25%未満)

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和5年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>「志魂医才」 本校の創立以来掲げてきた教育理念であります。</p> <p>豊かな教養とプロフェッショナルな医療人としての技術を持ち、愛情と誇りを持って超高齢化社会に向かっている国民の0歳から100歳までの健康な生活に寄与し、社会貢献できる人材の育成を目指す。</p> <p>豊かな教養とプロフェッショナルな医療人としての技術を持ち、国民の健康に寄与できる人材の育成のため「挨拶」「感謝」「感動」「責任」を重んじる教育目標。</p> <p>1. 人格の形成 (1) 他人への思いやり、自分の可能性を最大に伸ばしようとする謙虚さと誠実さを涵養する</p>	<p>1. 授業改善のための研究会の実施</p> <p>2. 資格試験全員合格に向けた組織的対策の実施</p> <p>3. 卒業後の進路指導の一つとしての企業説明会の改善実施</p> <p>4. 地域と連携し、各種イベント等への積極的参加</p>	<p>1. 主体的な授業研究会を前年度に引き続き実施。学科内外の多くの教員が参加した結果、それぞれの授業の現状と課題を共有して改善の方向性が一層明確になった。</p> <p>2. 資格試験合格に向け、各学科とともに組織的な対策を講じ、試験の傾向分析をし、計画的に進められた。</p> <p>3. キャリアサポートセンターを中心とした企業説明会の企画・運営が行われ、学生の積極的な参加につながった。</p> <p>4. 主催事業としてのシンポジウムやフォーラムを始め地域と連携してチャリティイベントなどを行った。</p>	<p>特に無し</p>

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	校長 赤木 恭平
--------	-----------	-------	----------

基準 1 教育理念・目的・育成人材像 【平均評定：4.0】

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念と目標・ビジョンに関して日常的に教職員・学生も意識するような環境作りを行っている。	

最終更新日付

令和7年3月31日

記載責任者

校長 赤木 恭平

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	理念や教育目標・目的に基づいた人材像「プロフェッショナルな医療人」の育成を目指す	定められている。	特に無し。	
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	課程（学科）毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にする。	明確にしている。	特に無し。	
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	全学科において0歳から10歳まで動ける身体づくりをサポートできる人材の育成を目指している。	取り組んでいる。	特に無し。	
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	医療・スポーツの側面から社会のニーズに応えるための構想を抱く。	取り組んでいる。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念やビジョンは教職員だけでなく学生に共有できるよう、入学式からイベントや行事でも常に伝達できるよう心がけ、一体となって達成に向かっていく方向です。	

最終更新日付

令和7年3月31日

記載責任者

校長 赤木 恭平

基準2 学校運営 【平均評定：4.0】

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>毎朝の職員朝礼による情報の共有の徹底など、毎日を滞りなく運営していくための施策など、また毎月行う管理者会議による情報の共有などを通して体制を整えている。</p> <p>さらに、日報制度による日々の学生の様子や教職員の情報を各部署の長が取りまとめ、校長が吸い上げるような仕組みとしている。</p>	

最終更新日付

令和7年3月31日

記載責任者

校長 赤木 恭平

2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	常に理念を意識し、運営方針を文書化することで教職員に周知する。	周知できている。	特に無し。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の教育理念だけでなく、法人の理念も周知し、理念に沿った行動ができるように努めている。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	校長 赤木 恭平
--------	-----------	-------	----------

2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	短期・中期の計画を策定する。執行体制、業務分担等を明確にする。	明確にしている。	特に無し。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	校長 赤木 恭平
--------	-----------	-------	----------

2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	理事会や評議員会の組織運営を適切に行う。また適宜、寄附行為の改正を行う。	定例の理事会・評議員会の開催および寄附行為の変更および登記手続きを行っている。	特になし	理事会議事録 評議員会議事録
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学校運営に必要な事務および教学組織を整備する。必要な委員会組織等会議体を整備する。	学校運営や教学の状況を共有するために、月に一度、管理者会議を開催している。	特になし	管理者会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
規程や規則等は作成しており、なおかつ更新していくようにしている。また、理事会・評議員会等も定期的に開催しており、滞りなく行っている。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	事務局長 西田真紀
--------	-----------	-------	-----------

2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	採用計画、昇任昇級基準を明確にし、適切な人事考課を行う。	適切な評価を行うために、評価基準に加え、面談を取り入れている。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事考課に関して、毎年より良いものを更新している。	外部コンサルタントと評価制度を策定している。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	事務局長 西田真紀
--------	-----------	-------	-----------

2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	教務・財務等の意思決定の権限を規則・規程等で明確にする。	全ての事項において、書面で意思決定ができるように稟議書等の回付を行っている。	特になし	稟議書 報連相シート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教務および財務にかかる意思決定システムは構築し、必要に応じて規則や規程を追加または更新している。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	事務局長 西田真紀
--------	-----------	-------	-----------

2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率 化を図っているか	情報管理システムを構築し てリアルタイムに管理を行っ ております。	業務に支障をきたさない限り、 現行制度を継続する。	型式が古くなった PC の入れ 替え作業を予定しております。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
直近で大きなトラブル・支障は発生していない為、現状の管理体制の維持を 主に考えております。 教職員の型式の古い PC の入れ替えを予定しております。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	IT事業部 千田直哉
--------	-----------	-------	------------

基準3 教育活動 【平均評定：3.8】

3-8 (1/1)

3-8 目標の設定

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	「志魂医才」の理念に基づき、豊かな教養とプロフェッショナルな技術を持ち、日本国民の真の健康に寄与できる人材の育成	成績向上の為、授業以外での特別講義の実施、学内外への現場実習の実施、担任による定期的な進路相談の実施等	1年次の専門科目への苦手意識の克服、勉強の習慣化 解決方向：入学後から、授業外の特別講義を実施。個別のサポート体制を取る。	学科会議議事録、授業シラバス
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	基礎科目、専門基礎分野、専門分野に準じる	学生便覧に明記し、新学期ごとにオリエンテーション内で各講義の狙いと到達レベルについて説明を実施している。	なし	学生便覧、学事日程、時間割

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
定期的実施している学科会議内で、教育理念やビジョン、行動指針が共有されている。その中で、各教員で話し合いを重ね、教育方針・到達レベルはどこかを定め、明記している。各担任を通じて、学生への共有を行う。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 社 由洋
--------	-----------	-------	----------

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育理念に準ずる	豊かな教養とプロフェッショナルな医療人としての技術を持ち、愛情と誇りをもって国民の真の健康に寄与できる人材の育成	医療人としての知識と技術、心のバランス。 3つをバランスよく教育する。	学生便覧、HP
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	教育課程に準ずる	1年次は基礎、2年次は応用、3年次は臨床と段階を経た教育	進行速度が適正か。 座学も実技も補習を行いながら実施する。	学生便覧、HP

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員等に対する挨拶、授業準備等の自主性、座学と実技に関する習得度を補正する補習や寺子屋などの実施。	担任制の導入。国家試験対策での寺子屋制度導入。 実技室開放による技術力向上と人間性の育成。 掲示物や呼びかけによる規律の強化。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	ディプロマポリシーに則る	授業シラバスを作成している	なし	理学療法学科授業シラバス
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	カリキュラムマップに則る	授業シラバスに授業目標や到達度評価を明文化している	なし	理学療法学科授業シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
授業実施に先立ちディプロマポリシーに則ったカリキュラムマップを作成し、カリキュラムマップに準じて授業シラバスにて各科目の到達度を明文化している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育理念に準ずる。	ホームページ、学生便覧で公表している。	なし	ホームページ 学生便覧
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	教育理念に準ずる。	授業シラバスに授業目標、評価基準を明文化している。	なし	授業シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
3つのポリシー（ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）を策定し明文化する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 亙
--------	-----------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育課程の編成方針、実施方針を文書化する。	看護学科シラバスに教育理念を踏まえて、3つのポリシーを明記している。	なし	看護学科シラバス
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	看護学科の目標とする教育到達レベルを明示する。	教育理念を踏まえて、教育目的・目標を明確にしており、それから、各学年の到達目標を作成している。	なし	看護学科シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
看護学科シラバスに教育理念を踏まえ、ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーを明記し、各学年の到達目標を作成している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	本校および歯科衛生学科の教育理念、教育目標に則る。	学科の「教育理念」「教育目標」を基に、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを設定している。	なし	学生便覧
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	歯科衛生学教育コア・カリキュラムおよび本学科のディプロマポリシーに則る。	歯科衛生学教育コア・カリキュラムに示された到達目標を達成するために適切な科目、最適な順番を設定したカリキュラムを展開している。	1年次の単位未修得者が多くいるため、学生の習熟度に合わせた学習支援を行う。	・歯科衛生学教育コア・カリキュラム-教育内容ガイドライン ・授業シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
歯科衛生学教育コア・カリキュラムに示された教育内容を精選し、本校学生が歯科衛生士としての基本的な資質と能力を養成するために、卒業までに身につけておくべき実践能力（知識・技術・態度）を明確にしている。	歯科衛生学教育の一定水準の質の担保だけでなく、本校の教育理念、教育目標を踏まえた独自の教育プログラム（生涯健康スポーツ論Ⅰ・Ⅱの履修や、生涯健康スポーツトレーナー資格取得など）を設定している。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育理念に基づいた学科の教育目標を明確に定め、学生に周知する。	HP に教育目標と 3 つのポリシーを公表している。学生にも周知している。	なし	介護福祉学科授業シラバス HP パンフレット
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	日本介護福祉士養成施設協会が作成している教育方針に従い、シラバスに科目の目的、到達目標、教育内容を明確に定め達成できるように取り組んでいる。	シラバスに授業目標や到達度評価の方法を、授業開始時に書面で説明、周知している。	なし	介護福祉学科授業シラバス・教員作成講義内容文書 HP パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校が定めた教育目標を達成するため、今後とも学科運営を行っていく。日本の介護福祉を学ぶ上で必要となる専門的で、実践的な知識及び技術を習得し、即戦力として活躍できる人材の育成を目指していく。	日本文化に触れられるような授業や介護に必要な専門用語や日本語の習得ができるよう学習支援を行っている。

最終更新日付	令和 7 年 3 月 3 1 日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	------------------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3つのポリシーをもとにして、スポーツ業界へ貢献できる人材育成を目指している。	多くの資格取得が可能であり、卒業までに様々な資格取得が可能となっている。	なし	学生便覧 学事日程 HP
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	シラバスにて教育到達レベルを明文化していく。	シラバスにて単位取得基準を明文化している。	なし	学生便覧 学事日程 HP

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本学科の教育目標をもとにして、3つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）を作成した。その3つのポリシーを軸にして、学科運営を展開していく。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	-----------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	整体セラピストとしての心得、医学的な基礎知識と身体のケアに関する様々な技術を習得する。また、社会貢献を通して社会人基礎力を身につける。	授業では繰り返し基礎を学び、サロンシミュレーションにて実践を積む。また、サロンシミュレーションの実施にあたり、在り方・理念・目標を決めるチームビルディングを行う。実施後は振り返りをし、次回の改善に努めている。	なし	
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーにて明確にしている		なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
知識や技術の習得のみではなく、地域の祭りなどの行事でサロンシミュレーションを実施し実践を積む。また、学生の振り返りやアンケートなどから改善点について学生リーダーを中心に話し合い顧客満足度の向上に努める。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	理念に基づいた学科の目標を定めている	HP に講評している	外国人向けの HP を整備する必要がある	HP
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	シラバス上に科目の目的、教育内容を明確に定めている。	シラバスに記載されている	Can do に基づいたカリキュラム、シラバスの作成を検討し、改めて設定する必要がある	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目標のもとに学科運営を行う。Can do に基づいて、留学生にとって何が必要かを再検討し、カリキュラム、コース設定をし、変化する日本語教育に対応できるようにしていき、活躍できる人材を育成していく。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

D O ビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	本校の教育理念に基づいた学科の目的・教育目標を明確に定め、教員・学生への周知を徹底する	HP 及び、学科パンフレットに教育目標と3つのポリシーを公表している	非常勤講師とも連携し、学科の目的に対し一貫性を持った意義のある授業を展開する	HP、学科パンフレット
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	基礎科目、専門分野、実践演習と、段階を踏んだカリキュラムを構成し、評価基準と共にシラバス上に明記する	シラバス上で各科目の目的、教育内容等を明確に定め、オリエンテーションを通じて、学生の理解と実現に努めている	各担任・教員間での定期的な報告会を実施し、未到達や手遅れを防ぐ	HP、シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校が定めた教育目標を達成するため、今後も学科運営を行っていく。日本の社会で必要となる専門的で実践的な知識・技術を修得し、即戦力として活躍できる人材及び、企業や地域の発展に貢献できる人材の育成を目指していく。	パソコン・簿記等のビジネス関連の授業の他、留学生にとっては、第二・第三言語となる日本語・英語の語学教育にも力を入れると共に、課題解決演習やキャリアデザイン等、日本社会での将来を見据えた科目を実施している。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

3-9 教育方法・評価等

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	学科長を初め、学科教員で定期的に学科会議・教育課程編成委員会を実施。その際、教育目的・目標の共有、教育編成を行う。	基礎科目、専門基礎分野、専門分野、学年別の習熟段階を考え、話し合い、カリキュラムの構成を組んでいる。	なし	学科会議議事録
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成委員会で業界団体の理事や業界の代表取締役を招いて、定期的に外部の意見を反映させる。	年に2回、教育課程編成委員会の実施、その後、学科会議を数回実施し、意見を取り入れたカリキュラムの考案。	なし	教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	豊かな教養とプロフェッショナルな技術の習得だけでなく、医療人として相応しい人間性の育成。	臨床実習や就職セミナー等、学外における学習、学内におけるマナー教育を実施している	なし	シラバス、学外セミナー参加者一覧表
3-9-4 授業評価を実施しているか	全科目において実施している。	成績判定後、授業評価を実施している。	休学者、退学者に対して実施できていない。	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
半期ごとに実施される教育課程編成委員会にて、業界団体理事や代表取締役を招き、学科の教育課程についてご報告し、ご意見を頂く。頂いたご意見に基づき、学科教員で会議を重ね、教育課程を編成している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 社 由洋
--------	-----------	-------	----------

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	学生便覧に準ずる	ステップアップ方式を実施	基礎、応用、臨床科目の難易度。基礎科目の反復練習により応用から臨床に繋げる。	学生便覧、HP、シラバス
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成委員会の提言を反映	臨床現場から得られる情報や考えを教育現場に反映	教育現場と臨床現場でのギャップ。臨床現場で働いている先生の授業を取り入れている。	第1回・第2回教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	企業説明会を実施	企業説明会の参加や企業への見学等に参加	就活のタイミング。速い段階で内定を得られるよう指導している。就職担当によるアンケートを実施している。	企業説明会
3-9-4 授業評価を実施しているか	授業評価アンケートを実施	前期・後期で実施	アンケート内容に対するフィードバック。上長との面談をする。	前期・後期の教員評価アンケート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
豊かな教養とプロフェッショナルな医療人としての技術、愛情と誇りを持って国民の真の健康に寄与できる人材を育成するため、教育課程とともに、教育課程編成委員会いただいた提言を反映させた教育の実施。	教育課程編成委員会の年2回の実施。 企業説明会の実施。 授業評価アンケートの年2回の実施。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	カリキュラムポリシーに則る	カリキュラムマップを作成し、基礎科目、専門基礎科目、専門科目に分配する。	なし	学則別表授業科目一覧
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	実践性のある教育の充実	教育課程編成委員会の意見を反映している	体験型の授業を積極的に取り入れる。	教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	臨床実習によるキャリア教育を実施する	見学実習、評価実習、総合臨床実習においてキャリア教育を実施している	介護領域、障害福祉領域の実習施設の不足があるため、登録実習施設の増加を行う。	学則別表授業科目一覧
3-9-4 授業評価を実施しているか	授業内容、授業方法の充実	授業終了並びに単位認定にかかる試験実施後に、授業評価を実施している	授業評価の供覧による他の教員の意見聴取を実施する。	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムポリシーに基づいた授業を展開し、資格取得後のキャリア形成を視野に入れた臨床実習の充実を図る。また、授業のさらなる向上を目指し、授業評価フィードバック票を活用する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	カリキュラムポリシーに則る。	カリキュラムツリー及びシラバスを作成している。	なし	学生便覧 ホームページ シラバス
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	キャリア教育・実践的な職業教育の充実を図る。	教育課程編成委員会を年に2回実施し、外部からの意見を取り入れている。	なし	教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	学生の社会的・職業的自立を目指し、必要な能力を身に付ける。	臨床実習においてキャリア教育を実施。様々な分野の実習施設を確保している。	なし	シラバス 実習登録施設一覧
3-9-4 授業評価を実施しているか	授業内容や授業方法などの授業の質の向上を目指す。	学生による授業評価アンケートを実施後、教員によるフィードバックを作成している。	なし	授業評価アンケート 授業評価アンケートフィードバック

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
キャリア教育や、より実践的な職業教育を意識したカリキュラムを作成し、授業評価を通して振り返りを実施する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 亙
--------	-----------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供する。	シラバスに基づいて、適切な教育内容を提供している。	教育内容の精度を高めるため、教育内容についての定期的な学習会の開催等を検討していく。	看護学科シラバス
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行う。	教育課程編成委員会の外部講師からのご指摘や実習病院等より、評価を頂くようにしている。	なし	教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫する。	各専門領域の授業において、各学年に応じた内容で工夫している。	授業で実施している内容について、教員間での共有化を行っていく。	
3-9-4 授業評価を実施しているか	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行う。	教務部との連携による授業評価を実施している。	なし	授業評価アンケート 授業評価フィードバック票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
シラバスに基づいて適切な教育内容を提供し、教育課程編成委員会の外部講師からのご指摘や実習病院等より評価を頂いたうえで、授業内容の構築を行っている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	本学科のカリキュラムポリシーに則る。	学科内で活発な意見交換をして教育課程編成に反映している。	なし。	<ul style="list-style-type: none"> 学則別表 10 授業科目一覧 教育課程編成委員会議事録
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	業界における人材の専門性の動向、新たに必要となる知識・技術・技能等を把握、分析した上で、専門課程を編成する。	教育課程編成委員会を年2回実施し、外部委員からの提言を教育課程へ反映している。	臨地臨床実習の内容を充実させる必要があるため、教育課程編成委員会にて協議し教育課程の見直しを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	自己の将来像を描き、その具現化に向けて行動する能力や態度を育てる。	講義や臨地臨床実習を通して、キャリア形成を支援している。	早期教育の必要性がある。入学前からのキャリア教育を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> 授業シラバス
3-9-4 授業評価を実施しているか	適切な授業運営、授業理解度等の効果測定を行う。	授業アンケートを前期、後期に実施し、結果を各教員にフィードバックしている。教員は結果を振り返り所感や改善策を提出している。	なし	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケート 授業評価フィードバック票 授業アンケートフィードバック改善点調査票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念やディプロマポリシーをもとに設定したカリキュラムポリシーにのっとり、教育課程を編成している。また、より実践的かつ専門的な職業教育の質の確保および教育水準の維持向上に向け、業界、関係団体等との連携や、授業方法の改善・工夫などを組織的に行っている。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	カリキュラムポリシーに沿って教育課程を編成している。	年毎に授業の内容を見直し、次年度に活かせるよう検討、実施している。また、非常勤講師にも授業内容について検討しながら、講義内容を共有している	本学科は留学生が多く日本語能力にも大きな差があるため、定期的に日本語能力の確認を行い、指導していく。	学則別表授業科目一覧
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	実践性のある教育の充実 年2回 6月 11月に教育課程編成委員会を実施している。	教育課程編成委員会の外部委員の意見を反映し、実践的な教育ができるよう努めている。	卒業生や、学生の就職先より意見聴取を行い、教育課程へ反映する。	教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	社会的・職業的自立に向け1年次から実践的な介護実習を実施している。	評価実習・介護実習において実習指導者にも協力をいただき、キャリア教育を実施している。	障害福祉領域の実習施設が不足しているため、実習先の確保を行う。	学則別表授業科目一覧 実習の手引き 実習報告書
3-9-4 授業評価を実施しているか	授業内容、授業方法の充実	授業終了並びに単位認定にかかる定期試験実施後に、授業評価を行っている。	授業評価の供覧による他の教員の意見聴取を実施する。	授業評価アンケート 授業評価フィードバック表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムポリシーに沿った授業を実施し、国家資格取得を目指す。また、介護福祉士としての知識・技術・倫理観を学び即戦力となる教育を展開させる。	介護実習指導者会議に学生も参加し実施 障害者との交流（ボランティア活動）への参加

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	本学科で資格取得するために必要なカリキュラム運営をしている。	資格試験のスケジュールを踏まえて、授業を展開している。	資格試験合格に向け、授業以外でも対策授業の必要性を感じている。	学事日程
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	年 2 回教育課程編成委員会を開催している。	スポーツ現場にて活躍されている委員より、今後のアスレティックトレーナーに必要な資質を伺っている。	教育課程編成委員会で提示を受けた内容をカリキュラムに反映させていきたい。	教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	多くのスポーツ現場を見学し、将来の自分の姿をイメージできるようにする。	スポーツ現場では試合中での活動しか見られていないので、練習の段階でのトレーナー活動を見学していきたい。	競技スポーツだけでなく、生涯スポーツの分野の見学していく必要がある。	
3-9-4 授業評価を実施しているか	授業アンケートを実施している。	授業アンケートの結果を踏まえ、今後の授業運営の在り方を各教員が検討している。	授業アンケートの評価を非常勤講師へフィードバックされていない。	授業評価アンケート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年 2 回教育課程編成委員会を開催し、委員の先生方に対して、学科の教育方法を報告し、アドバイスをいただいている。そのアドバイスをもとに、教育課程の編成を行っている。	なし

最終更新日付	令和 7 年 3 月 3 1 日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	------------------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	カリキュラムポリシーにて明確にし、整体セラピストとして必要な基礎分野、専門基礎分野、専門分野を学べるよう編成している	知識の習得のための基礎分野、施術に関する専門基礎分野、施術の実践などに関する専門分野を設定し、習得状況に合わせた講義を行っている	なし	
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成委員会は実施してない。その為、外部意見としては臨床現場実習先の担当者より意見を頂き反映している。	臨床現場実習にて、実習先の担当者より学生の評価表にてご指摘などを受けることができる。また、その評価は学生との面談の際にフィードバックしている。	なし	
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	社会人基礎力をもった人材の育成を実施している	学生自身の想いを明確にし、サロンシミュレーションにおけるチームビルディングを行い、社会貢献や三方良しの精神、リーダーシップなど、社会人としての基礎力をもった人材の育成を実施している	なし	
3-9-4 授業評価を実施しているか	実施し、改善点を明確にすることにより、より良い講義にする	評価の結果によって改善点が明確になることで、学生がより分かりやすい講義になるよう改善につなげている。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
知識や技術の習得に限らず、社会人基礎力を気に付けることや地域貢献について学び、その実践として校内や校外にてサロンシミュレーションを実施。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	ディプロマポリシー並びにカリキュラムポリシーに沿って教育課程を編成している	毎年授業内容を見直し、改良検討している	学習者のニーズをより具体的に深め、Can doに基づいたカリキュラム作成の検討を学科全体ですていく	
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	なし	なし	なし	
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	日本における文化や礼儀、社会的なルールなどが理解できるようにサポートし、日本社会において自立して生活ができるようにする	授業や課外活動などで日本社会を学ぶ機会を設けている	外部との交流をもっと増やす必要がある	
3-9-4 授業評価を実施しているか	前期・後期、それぞれに授業評価アンケートを実施している	アンケートの結果を各教員が確認し、次の授業に生かすようにしている	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
従来の知識を積み上げ式の教育だけでなく、学習を促し、自律して勉強ができるようにしていく必要がある。教え込むだけでなく、コーディネーターとしての教員の意識を各教員が高めていく必要がある。参照枠に沿ったカリキュラム作成を進め、充実した教育を提供できるように努める。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

DOビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	ディプロマポリシー・カリキュラムポリシーに則ると同時に、業界のニーズを検討し、教育課程を編成する	毎年授業内容を見直し、改良すると同時に、留学生の日本語力の差で習熟度が異なることのないよう、補講を実施している	学科の教育目的・目標の口頭説明や面談により、学生自らの目標設定を促し、学習意欲の向上を図る	学生便覧、HP、シラバス
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	年2回の教育課程編成委員会の実施と実習先企業・ホテルとの連携及び、ヒアリングを行う	外部からの意見を反映し、より実践的な教育ができるよう努めている	なし	教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	社会的・職業的な自立に向けて必要な能力が身に付けられるよう、1年次からキャリア教育を実施する	目指す業界の知識や技術を得るための校外学習を各種取り入れ、それらを継続的に実施できるように体制を整えている	学生数の増加や希望業界の多様化に対応するため、連携する企業・施設の開拓を進める	実習報告書、実習日誌
3-9-4 授業評価を実施しているか	前期・後期末に授業アンケートを実施する	アンケートの結果から、教員は自身の授業を見直し、授業の内容や質の向上に努め、必要に応じて学生指導に役立てている	事後対応にならないよう、今後も授業構成の客観的見直しや学生指導を積極的に行う	授業評価アンケート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今後も日本の国際社会で役立つ知識や技術を身に付けるための教育を展開させていく。社会情勢や業界の動向を常に確認し、ニーズに合った授業や校外学習を実施する。	ホテル宿泊実習、職業体験 日本料理・フランス料理のテーブルマナー実習 企業演習、夏季・冬季インターンシップ

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

3-10 成績評価・単位認定等

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学生便覧に明記し、教員・学生に周知徹底させる。	オリエンテーション内で担任による説明を行う。	なし	学生便覧、授業シラバス
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	症例報告発表内容をデータ、書面にて提出させ、全教員で評価し・共有する。	全学年において、臨床実習後に症例報告の作成、発表会を実施している。	内容をより現場に即したもののへと変化させていく。	臨床実習 症例報告データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価や終了認定基準については、学生便覧に明記し、且つ、担任から各学生への説明が行われる。学生と教員間での誤差が出ない様、定期的に説明を行っている。また症例報告作成やポスターセッション作成などを実施し、学内発表会を実施している。	なし

最終更新日付

令和7年3月31日

記載責任者

学科長 社 由洋

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学生便覧に準ずる	中間・期末試験を実施し、総合的に勘案して評価する。	シラバス、概要を配布。評価基準を説明のうえ、授業を開始する。年度末に成績判定会議を行っている。	学生便覧、シラバス
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	医療オリンピックの参加	希望者による医療オリンピックの参加及び見学	1年次からの技術の研鑽	接骨院振興協同組合 HP

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生に対して成績評価を明確に伝える。</p> <p>学科教員間による定期試験内容の確認、科目担当教員と担任との情報共有による円滑な運用を実施する。医療オリンピック等のイベントに学生を参加するよう促す。</p>	<p>科目担当、担任、学科への報告、成績判定会議と複数の精査を実施する。</p>

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示する。	学則等に則り、授業シラバスに成績評価基準を明文化している。	なし	理学療法学科授業シラバス
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	臨床実習後の症例研究について成果を把握する	ポートフォリオを作成し、その成果を確認している	なし	臨床実習指導要綱

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
授業シラバスに成績評価基準を明確に示し、学生の学習到達度については、ポートフォリオを活用してその成果を把握している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	判定基準を明文化し、事前に提示する。	シラバスに明文化している。 成績を公示している。 成績表を送付している。	なし	学生便覧 卒業判定基準 成績判定会議議事録 シラバス
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	判定基準を明文化し、事前に提示する。	実技試験を実施している。	なし	学生便覧 シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価や単位認定に関わる判定基準を明文化し、事前に学生に提示することで、適切に運用する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 互
--------	-----------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示する。	学則に規定されており、学生便覧を使用して学生への説明を実施している。	なし	学則 学則施行細則 学生便覧
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	該当なし	該当なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生便覧を使用して学生への説明を実施できている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学生便覧に基づく。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生に明示している。	なし	学生便覧
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	各科目に対する評価項目および評価基準を設定することで、到達状況を把握する。	実技チェックや臨床実習のレポートやケース表、臨床実習評価表などでその成果を把握している。	実習内容に偏りがある。ケースレポートなどは実習施設の特徴に合わせたものを準備する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習評価表 ・実技チェック表 ・ケース表 ・実技試験採点表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価・修了認定基準や入学前の履修、他の教育機関の履修の認定等について学生便覧に規定し、オリエンテーション等で学生に説明している。また適切に運用するため、学科教員で適宜協議し、臨床実習指導者会議を開催するなどし、客観性・統一性の確保に努めている。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価の基準について、学則等に規定し、学生に周知する。	授業シラバスに成績評価基準を明確化している。	なし	介護福祉学科授業シラバス
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	介護実習後に、実習報告会を行っている。	実習報告会には実習指導者にも参加してもらい、評価をいただき、今後の課題に取り組むことができるようにしている。	なし	実習の手引き 実習報告会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価の基準や評価穂応報はシラバスに記載している。また、新入生及び在校生オリエンテーションや授業開始時に学生へ説明を行うなど、周知を徹底している。	留学生に対しては、説明の内容が分かりやすいように文章を簡単な日本語に代え便覧を作成し配付、時間を掛けて説明を行っている。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学生便覧、シラバスに記載されている評価方法に基づき、学生の評価を実施している。	最終講義に終講試験を実施し、その結果に基づき成績評価を実施している。	なし	学生便覧 シラバス
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	該当なし。	該当なし。	なし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価については、学科会議内で全教員と情報共有しており、学生指導に反映させている。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	-----------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	各種検定合格を目標に知識と基礎技術の習得を目指している。	特に整体セラピスト検定3級、背骨コンディショニングの認定は、解剖学・生理学の知識も必要であり、施術も含め小テスト等を繰り返し習得に努めている。また、実技に関しては評価項目を明確に提示し評価している。	なし	
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	各担当教員による評価、臨床現場実習では、現場実習担当者が評価し集約している。	各種評価項目は講義の中で事前説明をし、評価後は担当者より改善点のフィードバックを行っている。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
習得した知識・技術を各担当者が公平に評価している	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価、単位認定の基準を明確にし、学生へ周知する	シラバスに記載してある	学生の日本語能力を様々な評価方法を取り入れ、再検討していく必要がある	
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	スピーチ大会などを通して、日ごろの日本語学習の成果を発表している	学校関係者だけでなく、地域の方々にも見ていただいております、出向いてスピーチをする機会もえることができ、以前より交流の幅が広がった	もっと周知し、様々な関係の方々との交流ができるようにしていく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
知識を問う筆記の試験中心となっているが、Can doに基づいた「できる」が分かる評価方法を検討し、それをゴールとしたカリキュラム作成をしていく。またポートフォリオや自己評価などの割合も増やし、自律学習へとつなげたい。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

DOビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価、単位認定の基準を明確にし、入学時オリエンテーションの時点で学生へ周知する	シラバスにて成績評価基準を明文化し、学生が随時確認できるようにしている	なし	シラバス、インターンシップ単位認定規定
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	実習の際、成果発表の場を設け、学生や教員の他、企業の方にも評価をいただく	学生が自発的に取り組めるよう指導を行うと同時に、企画力・プレゼンテーション能力の向上に努めている	なし	実習報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績の評価基準や方法、実習等の単位認定基準は、シラバス及び、学生便覧に明記している。また、新入生・在校生オリエンテーションの実施や授業開始時の説明、更に、担任から各学生への定期的な説明を通して、学生と教員の間で認識の違いが出ないよう徹底している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	柔道整復師の資格について教育課程上で明確に位置付ける。	学生便覧への明記	なし	学生便覧
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	専門の教員を配置し、適切な教育指導体制を整えている。	授業外でも全学年において特別講義を実施している。	なし	学科会議議事録 教員名簿

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格・免許取得率 100%を目標とし、進級・卒業・国家試験取得率を高める為、各担任や専門教員による特別講義・学生サポートを行っている。	なし

最終更新日付

令和7年3月31日

記載責任者

学科長 社 由洋

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	はり師・きゅう師の取得	資格取得に向けた教育課程を実施。	100%の取得。 授業内での学力向上。 ステップアップ教育。	学生便覧。HP
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	取得率 100%	授業の充実や補習の実施。 担任制度。	担任制。寺子屋対応。 面談による精神面の対応。	学生便覧。HP

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
はり師・きゅう師の国家資格の取得率 100%を目標とする。その為の、カリキュラムを実施、国家試験対策補習を実施する。	担任制以外に国家試験対策のための寺子屋を実施する。 学科独自のゼミナールを開講する。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にする。	学生便覧並びに学校案内パンフレットに明記している	なし	学生便覧 学校案内パンフレット
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	資格・免許の取得について、指導体制を整備し、不合格者に対する指導体制を整備する。	資格取得に向けての授業を実施し、学科教員を専属で配置し指導している。	成績不良者に対し、随時的な履修状況の把握を行うために面談を行う。また不合格者に対し、聴講計画を学科教員と立てる。	学則施行細則 聴講生制度について 聴講生証

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得に向けて、成績不良者に対する指導体制の充実を図る。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	カリキュラムを通して目標とする資格・免許の取得を目指す。	ホームページ、募集要項、パンフレットに記載している。各種証明書を発行している。	なし	ホームページ 募集要項 シラバス 成績証明書・卒業証明書
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	資格・免許取得の指導体制を整える。	専任教員を配置している。シラバスを作成している。	なし	教員名簿 シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格・免許取得の指導体制が整っており、カリキュラムを通して資格・免許取得を目指す。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 互
--------	-----------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	看護師免許の内容・取得の意義について明確にする。	明確にしている。	なし	学生便覧 学校案内パンフレット
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	看護師免許の取得について、指導体制を整備する。	就職担当、国試担当を明確にし、指導している。また、教員全体で資格・免許取得に向けてゼミ制度を設けて、個別にも指導している。今年度より、看護塾にて2名の講師が、国試に向けた学習指導をしている。	教員に係る負担と教員の能力差が生じるため、学科会議等を通して、担任及びゼミ担当より情報提供を行い共有化を図っていく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
看護師免許取得に向けゼミ制度を設け、個別にも指導を行い、会議等にて情報提供を行い共有化を図っている。また、看護塾担当講師との情報交換も行っている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	歯科衛生士国家試験受験資格、生涯スポーツトレーナーが取得できる教育課程を編成する。	目標とする資格・免許を学生便覧並びに学校案内パンフレットに明記している	なし。	<ul style="list-style-type: none"> ・学生便覧 ・学校案内パンフレット
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	合格率 100%を目指した指導体制を整備する。	国家試験対策時間を設置し、教員が個別指導している。既卒者は、聴講生制度で対応している。	成績下位層の国家試験対策への出席率改善が課題。面談を行い、精神的な支援も強化していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・学則施行細則 ・聴講生制度

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
歯科衛生士国家試験の合格 100%を目標とした教育課程の編成および指導体制を取っている。随時学生の成績を把握し、状況に応じた指導を行っている。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	目標としている国家資格について、資格内容・取得の意義について明確にする。	学生便覧並びに学校案内パンフレットに明記している。 また、オープンキャンパスや入学生オリエンテーションでも資格取得について説明を行っている。	なし	学生便覧 学校案内パンフレット
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	資格・免許取得について、指導体制を整備し、不合格者に対する指導体制を整備する。	資格取得に向けての授業を実施し、授業以外にも時間外で補講や自主学習ができるよう環境を整える。	成績不良者に対し、授業時間外での補講計画を立て、定期的に理解度を確認する。	学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得に向けて、成績不良者に対する指導体制の充実を図り、即戦力として活躍できるよう教育を行っていく。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	取得を希望する資格について100%の合格を目指している。	資格取得一覧表を配布しており、資格取得に必要な試験内容、費用などを明文化している。	なし	資格取得一覧表
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	授業以外での試験勉強を進められる環境を整備している。	授業後に教室を開放し、学生からの質問などについても学科教員が対応している。	学生らの理解度に差があるため、各学生のニーズによって対応していく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格試験合格率 100%を目標としている。対策授業、授業後に教室開放などを実施している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	-----------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	目標としている整体セラピスト検定 3 級を明確に位置づけている。	カリキュラムは 3 級を 1 年間で学べる内容に構成している。	なし	
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	民間資格を 1 年間で多く学び取得できるようカリキュラムを構成し、各講師もその専門の知識・技術がある	各講師は、経験の豊富な現役の治療家で資格試験にも精通している。試験前には対策講義を実施している。希望者は放課後補講等を行い合格に向けた指導している。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
多くの知識・技術を学び資格を取得する。その為の講師、講義内容、試験対策は毎年見直し改善し実施している。 また、視野を広げるきっかけとして他学科教員による特別講義なども実施している	なし

最終更新日付	令和 7 年 3 月 3 1 日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	------------------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	教員と学生とで共有している	J L P Tの取得を目指している。試験対策も実施している	J L P T以外の検定の周知もしていく必要がある	
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	学科一丸となり、年2回の試験への意識付け、指導をしている	授業に対策を盛り込み、希望する学生には授業外での指導、補習も行っている	合格率があげられるよう、日ごろからの意識付け、動機付けをしていく必要がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
合格できる学生は維持できているが、なかなか合格までが遠い学生の指導をどうするかが全体の合格率上昇につながるので、そこにも力を入れていきたい。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

DOビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	学生に対し、目標とする資格・検定の必要性や、取得のために学ぶ意義を明確にした上で授業を展開していく	オリエンテーションや授業開始時の説明及び、現状の数値化・可視化により、達成意欲の増強を図っている	なし	学生便覧
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	全学生が資格・検定を取得した状態で就職活動に進める教育課程及び指導体制を提供する	資格・検定の取得やスコアアップに特化した授業や補講により、合格率の向上を目指した指導を行っている	内容の理解よりも日本語の理解に依存するところもあり、個別の対策等を検討する	学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
語学・ビジネス関連の資格取得に向けて、授業や補講等で対策している。	JLPT 日本語能力検定（N2） TOEIC L&R（800点） 観光英語検定 グローバル人材ビジネス実務検定（3級）

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

3-12 教員・教員組織

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	専門性と授業科目を照合して各教員を設置する。	専門性と授業科目を照合して適所に相応な教員を設置する。	なし	学事日程表、時間割 教員名簿、授業シラバス
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	学内における教員向け研修会・セミナーを計画・実施を行い、教員の質向上に努める。	年に数回、教員向けに研修会が実施され、各教員も積極的、かつ自主的に参加している。	現場での応用。継続していくことで自身の能力に変えていく。	学科会議資料、学科会議議事録
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	組織図を作成し、明確にする。	会社総会にて組織体制が明確化されており、全教員が周知徹底出来ている。	なし	スタンダードブック

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員の資質を向上するべく、学内で教員向けの研修やセミナーが計画・実施されている環境、その中で学科教員も自主的に参加し、常に学ぶ姿勢が見て取れる。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 社 由洋
--------	-----------	-------	----------

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	資格・要件を満たした常勤教員を確保。	要件を満たした常勤教員が8名在籍。	なし	学科教員組織図、学科教員職務分掌
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員研修の実施。	年1回以上の外部研修を行っている。	教員の資質向上。 学内・学外の研修に参加するよう指導している。	学外研修内規第3条第1項
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	学科教員組織図及び機構図の作成。	年度ごとに役割分担を作成。	仕事量の適正。 組織図及び機構図に沿った学科運営および面談を実施する。	学科教員組織図、学科教員職務分掌、学科内機構図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格・要件を満たした教員を確保し、年1回以上の研修を受け、組織図及び機構図に沿った学科運営を行っている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にする。	授業シラバスに授業を担当する教員の実績を明記している。	なし	理学療法学科授業シラバス 教員名簿
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の資質、教育力向上のための研修計画を定め、運用する。	専門領域の見識並びに教育力向上のための研修計画を年度始めに立て、運用している。	なし	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	分野ごとや授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築する。	授業を専門領域の分野にそった教員にて連携しながら実施している。	なし	理学療法学科授業シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格や要件を備えた教員を配置し、教員の質を担保するための研修の運用に努め、専門領域間での連携を測りながら授業を実施する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	資格・要件を備えた教員を配置する。	専任教員を配置している。	なし	ホームページ 実務経験者一覧 教員名簿 教員研修終了証
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の資質向上を目指す。	授業アンケートを実施している。 FD委員会を運営している。 学会、研修会等に参加している。	専任教員の学位取得など、WFOT（世界作業療法士連盟）の基準へ近づけるよう取り組む。	授業アンケート FD委員会議事録 研修報告書
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員の組織体制を整える。	職務分掌を作成している。 委員会を開催し、業務を遂行している。	なし	職務分掌 年間スケジュール 学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格・要件を備えた教員が適切に配置され、定期的に資質向上を目指した取組みがなされている。また、各委員会を設置し、学科会議を通して適切に運用する。WFOT（世界作業療法士連盟）のガイドラインに則り教員の資質向上を図る。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 互
--------	-----------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にする。	臨床経験や教育経験を踏まえて、授業科目の決定をしている。	専任教員養成講習会未修了者や教育経験が浅い者がいるため、次年度に、専任教員養成講習会を受講させる。	
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援する。	学会や研修会・学習会に関する情報提供を行ない、参加を推奨している。	積極的に取り組む教員が少ないため、主体的に取り組めるように、業務の改善を検討していく。	教職員研修規程 学外研修にかかる費用負担に関する内規
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	分野毎に必要な教員組織体制を整備する。	専門分野については、各領域のリーダーを決めて体制づくりをしている。	領域間の体制整備が弱いいため、領域間の会議を持ち、体制を強化する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
臨床経験や教育経験を踏まえて授業科目の決定をしている。専任教員養成講習会の受講や学会・研修会等に関する情報提供を行ない、参加を推奨している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	歯科衛生士学校養成所指定規則に則る。	資格・要件授業シラバスに授業を担当する教員の実績を明記している。	なし。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業シラバス ・履歴書 ・各免許証コピー
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	専任教員認定歯科衛生士の資格を取得する。	各教員のレベルに合わせ、歯科衛生士専任教員講習会（Ⅰ～Ⅵ）へ参加している。	なし。	<ul style="list-style-type: none"> ・専任教員認定歯科衛生士制度規定 ・歯科衛生士専任教員講習会修了証
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	業務分掌に沿った組織体制による学科運営を行う。	学科内で業務一覧表を作成し、各自の役割や業務を明確にしている。	なし。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
歯科衛生士養成施設指定規則に則り、専門分野を教授するために必要な教員を確保し、適切な教員組織を構築している。 歯科衛生士教育における教育内容および専任教員のレベルの統一、さらなるレベルアップを図るため、歯科衛生士専任教員講習会へ参加している。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	授業科目を担当するための、専門知識と技術、実務経験、資格等を明確にする。	授業シラバスに、授業を担当する教員及び非常勤講師の実績を明記している。	なし	介護福祉学科授業シラバス 教員名簿
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	関連分野の知識向上のため研修は重要であると考え、教員には研修を受けるよう周知している。	専門領域の研修並びに教育力向上のための研修に参加し、教育向上に努めている。 参加後は、教員間で共有できるよう研修内容を報告する。	なし	教職員研修規定 学科会議議事録
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	分野ごとや授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築する。	関連性の高い専門領域の分野に沿った教員にて連携しながら実施している。	なし	学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格や要件を備えた教員を配置し、教員の質を担保するための研修の運用に努め、専門領域間での連携を測りながら授業を実施する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	資格試験認定校の開講基準を満たす教員を確保している。	各教員の専門性を踏まえ、科目担当者を決定している。	資格・要件を満たす教員の確保が難しい場合がある。	
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	学内・学外の研修会に参加している。	学内・学外の研修へ参加している。	日程の調整が難しい場合がある。	FD 委員会議事録 学内研修にかかる費用負担に関する内規
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	業務分掌を作成しており、各教員に対して業務内容を明確にしている。	業務分掌を踏まえ、各教員が業務にあっている。	なし	学科業務分掌

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格・要件を満たした教員を配置しており、学内・学外での研修に参加して資格に関する知識の再確認をしている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	-----------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	各種の資格取得に要件を満たした講師が各講義を行い、資格取得に向けた講義を行っている	各講師は経験豊富で多方面で活躍する現役のセラピストであり、資格と要件を備えている。また、学生が質問をし易い環境作りに努めている。	なし	
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の資質向上への取組みは必要事項とし、教員研修等に計画的に参加している。	時代背景や、技術の進歩に合わせ変化が必要であり、また、現役のセラピストであるため、それぞれが学ぶ姿勢を持ち合わせている。	なし	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員の組織体制は整備している	非常勤や他学科の教員による特別講義等もあり、組織体制はできていると言える	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各非常勤講師は現役のセラピストであり、資格・要件を備えている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	資格・要件を備えた教員を確保している	専任・非常勤含め要件を満たしている	教員の増員が必要	
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	日本語教育に関連する研修に積極的に参加する	研修に参加し資質向上に努めている	学科内での研修も積極的に行っていく必要がある	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	役割分担をし、組織的に動けるようにしている	担任などが自分の担当するところを把握し、会議などで共有している	人員不足により一人の業務量が重くなっているところもあるので解消していく必要がある	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
参照枠に基づくカリキュラムや認定校について、学科で協力して知っていく必要があるため、積極的に学科内で会議、研修をしていく。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

D O ビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	有資格者や業界経験のある者など、専門知識や技術を日本語を母国語としない学生に教える能力を持った教員の確保	専門性と授業科目を照合して、非常勤講師を含む各教員を配置している	なし	教員名簿
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	専門領域・関連分野の知識向上、また、指導力強化のための研修参加を支援する	定期的に関連した分野の研修・セミナーに参加し、最新の動向の把握、教育力の向上、教員間での共有に努めている	なし	教職員研修規定
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員の業務内容や役割を明確にし、組織的に活動できる体制を構築し、運用する	学科会議を開催し、授業内容や教育方法の改善点など、客観的情報と意見を共有する等の協力体制を構築している	なし	学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格や要件を満たした教員を配置し、更に、教員の資質向上のため、定期的 に研修やセミナーに参加するように努めている。また、情報を共有し、一層 充実した教育活動を行うことにより、教育目標を達成できるよう取り組んで いる。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

基準 4 学修成果 【平均評定：3.6】

4-13 (1/1)

4-13 就職率

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職率 100%を目標とし、それにむけたサポート体制をとる。	関連する企業による就職説明会を開催している。また学外で実施される就職説明会への参加も行っている。	なし	求人票、就職一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職支援に関して、1年次～3年次まで各担任による個人面談の実施、臨床実習を通じて外部への現場研修の実施、マナー講習等の実施を行っている。また企業説明会への参加呼びかけを行い、多くの学生の参加がみられる。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 社 由洋
--------	-----------	-------	----------

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	企業説明会の実施。 企業との求人に対する面談。	企業説明会に学生を積極的に参加させている。また、求人の掲示やファイリング等を行っている。	企業と学生とのミスマッチ。企業側からの求人説明、治療見学の参加を促す。	キャリアサポートセンター資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
企業説明会への参加を促すだけでなく、就職に対するアンケートを実施し、就職状況を把握し、サポートする。	2名の就職担当を配置し、担任ともに学生の就職を支援する。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職率に対して100%を目標とする。	就職先の見学や面接などの相談に随時対応している。 求人票の掲示や企業によるセミナーを開催している。	就職活動の開始が遅かった傾向にあるため、開始時期を早くすることや就職活動のセミナーを充実化する。	施設見学届 就職試験受験届 就職内定届 求人票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率100%を目標とし、就職相談に随時対応する。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職希望学生に対して就職率100%を目標とする。	求人票の提示や就職相談、就職セミナーを実施し随時対応している。	なし	求人票 就職試験報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職希望学生に対して就職率100%を達成するため、就職活動（見学、履歴書作成、面接）に関する相談に随時対応する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 互
--------	-----------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	学生の就職活動を把握し支援する。	就職担当教員を通して、活動の状況を会議等で定期的に報告するようにしている。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
早期から就職担当教員やゼミ担当教員が個別に対応を行っている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	看護学科 小山 京子
--------	-----------	-------	------------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職率 100%を目標としている。	求人票を開示し、求人先の情報を提供している。また見学や面接などの相談、履歴書添削などに随時対応している。	歯科衛生士国家試験不合格者の就職が課題。就職率が向上するよう、まずは歯科衛生士免許を取得できるように導く。	<ul style="list-style-type: none"> ・求人票 ・内定通知書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
6月までに外部の企業セミナーや担任による学内既定の説明などを行い、その後は随時個別対応をしている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職希望者の就職率は100%を目標としている。	担任と国際事業部を中心に就職相談と履歴書の作成の指導を行っている。また、施設見学などを随時行う。	なし	学科紹介パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生が就職活動に向け安心して取り組むことができるよう、海外事業部及び介護施設と連携し就職100%を目指す。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職希望する学生の就職率100%を目指している。	就職活動を希望する学生に対し、アンケートを実施し、自分が希望する就職先をサポートしている。	卒業後のキャリアデザインを描けられない学生もおり、自己分析を実施することを検討していく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率100%を目標に学習環境をサポートしている教員と就職についても合わせてヒアリングをしていく。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	-----------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職説明会などへの参加を積極的に促している	履歴書作成の補助・面接の練習を行っている。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職希望者は12月までに内定がもらえるよう早めの行動を促している。	併学していない学生でも、就職を希望しない学生がいる。また、大学進学など進路変更をする学生もいる。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	基本的には自身で進めていくが、サポートをしている	履歴書の作成、面接の指導などを行っている。また、日本社会や業界、ビザなどの助言も行う	ビザや就職や社会における一般的知識が不足している学生もいるので気を付けなければならない	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
基本的に進学する学生が多いので就職の機会はほとんどないが、大卒の学生、特定技能を希望する学生など多様な進路があるので、しっかり学生の話聞いて対応していかなければならない。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

DO ビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	担任を中心とした就職指導を行い、就職希望者の就職率100%を目指す	1年次からのキャリアデザインを含め計画的に就職指導を行い、企業説明会や交流会等の情報発信を随時行っている	学生数の増加と希望業界の多様化への対応	学科紹介パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生が就職活動に集中して取り組むことができる体制を整備すると同時に、社会情勢・各業界の動向を常に確認し、企業が求める人材を輩出していける教育環境を整えている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

4-14 資格・免許の取得率

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	目標設定は100%である。	資格取得に向けて、補講・セミナーを積極的に実施している。又、内容の充実を図っている。	なし	求人票、就職先一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
合格実績、合格率、全国水準との比較など、行っている。模擬試験の結果との整合性をチェックしており、合格率の向上を目指している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 社 由洋
--------	-----------	-------	----------

鍼灸学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	合格率100%を目標に資格・免許取得対策を実施。	国家試験対策補習の実施。個別指導の寺子屋実施。国家試験対策補習の自習課題作成。	各々の学生にあった勉強法の確立。学生のレベルにあった対策資料を作成する。	R6年度国家試験対策出席簿

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
はり師・きゅう師の国家資格取得を目指し、教育課程を編成し、また国家試験対策を実施、各々の学生に対応している。	担任制。個別寺子屋制。毎月の模試実施。国家試験対策係の設置。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行う。	指導方法と定期的な模擬試験の結果の整合性を常に確認し、合格率の向上を目指している。学生の実力を随時把握し、個別の支援体制を強化するために面談を実施している。	学生個別の対応だけでなくクラスの特性に応じた支援体制の検討を行う。	学生便覧 学校案内パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
指導方法の成果を定期的な模擬試験で検証し、合格率の向上を目指して指導体制および支援体制の充実を図る。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	合格率 100%を目標に試験対策を実施している。	対策資料を作成している。模擬試験結果の分析後、活用している。	なし	学校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
合格率 100%を目標に過去の国家試験問題の傾向分析、模擬試験の結果から学生個人の傾向と苦手分野を分析しセミナーを実施する。また、成績不振の学生に対して個別にて対応する。今後は初年次教育を充足させ、合格率の維持を図っていく。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 互
--------	-----------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	模擬試験の実施、特別講義、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援を行う。	3年次の年間計画に従って、教員等による特別講義、成績低迷者への個別指導など学習支援を行っている。	1年次より計画的に積み上げ方式で、3年間の学習支援体制を検討していく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
特別講義やセミナーの実施、模擬試験の結果をもとに成績低迷者への個別指導など学習支援を行っている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	国家試験受験資格および歯科衛生士免許取得 100%を目標としている。	模擬試験結果の分析やフィードバック時の面談を行ったうえで、個別指導や習熟度別の支援等を行っている。	成績低迷者の底上げが課題。早期に対象者を縛り、個別対応していく。	・模擬試験結果

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
外部模試、校内模試を計画的に実施している。それにより学生個人の成績を把握し、習熟度に応じた指導・支援を行っている。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	学生が資格を取得できるような授業を行う。	合格率向上のため、補講を実施している。	学生全員が資格取得できるよう、個々の学力に応じた学習方法を計画し指導を行う。	模擬試験・過去の国家試験問題 分析データ 問題集

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得に向けて授業を中心に対策を行っている。また模擬試験を実施し、結果の分析、苦手分野の克服に努めている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	資格試験合格率 100%を目指している。	学習習慣の定着を図るため、スケジュール表を運用している。資格試験までの道筋を立てられるようサポートしている。	学習習慣が定着しない学生もおり、スケジュール運用をどう活用していくのかを検討したい。	資格取得一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得に向け、各資格試験において模擬試験を実施し、資格試験合格率100%を目指している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	-----------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	資格・免許取得率は向上している	担当講師は資格試験を熟知しており、事前の試験対策や習得状況をみて補講を行い、合格率の向上に努めている	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各担当講師が授業や事前の試験対策を実施し合格率の向上を図っている	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	授業はもちろん、個別対応、補習などで対応する	授業内での対策、補講、授業外でも個別対応を実施している	合格が難しい学生への支援を充実させなければならない	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学習としての指導はもちろん、合格することへの動機づけも大事にしながら指導をしていく。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

DOビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	試験の内容を確実に理解し、実践で使えるよう授業内容を構成し、結果として資格取得率の向上に繋がること	学生全員が資格を取得し、更なるスコアアップ・スキルアップを目指せるよう、模擬試験や補講を充実させている	なし	模擬試験分析データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得率100%に向けて授業を中心に対策を行っている。また模擬試験や補講を充実させ、結果の分析、苦手分野の克服に努めている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

4-15 卒業生の社会的評価

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の社会的評価を随時、定期的に把握していく。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問・定期的にお会いするなどして卒後の実態を調査等で把握している。	離職率など、数字での評価を行えていない。卒業後も卒業生と繋がれる組織・コミュニティを創る。	就職先一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の就職先企業と定期的にお会いする事で、卒業生の現状・評価を把握している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 社 由洋
--------	-----------	-------	----------

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業後の就職先の把握	卒業前の就職状況アンケートの実施。	その後の社会的把握。企業側から、就職後の近況報告や求人説明の際に同席し、現状の報告を受ける機会が増えてきている。今後その機会を増やしていく。	R6 卒業連絡先情報一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業後の就職状況アンケートを実施し、就職率及び就職地域などを把握。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の名簿を作成し、進路を把握する。	卒業生の就職先一覧を作成し、進路を把握している。	なし	就職先一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の就職先一覧を作成し、卒業生の進路を把握する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	就職先を把握する。 学会等への取り組み状況を把握する。	就職先一覧を作成している。 学会発表へのアドバイスをしている。	なし	就職先一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職先一覧を作成し、学会発表などの取り組み状況を把握する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 互
--------	-----------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の就職先の医療機関等を訪問するなどして、卒後の実態を把握する。	実習病院等に就職した学生については、聞き取り調査をしている。遠方の卒業生については、学生より情報を収集している。	卒後の実態の把握方法、特に遠方の場合の把握方法の検討が必要。	就職先一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実習病院等に就職した学生については、看護部長などから直接評価をうかがっている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業後の進路を把握する。	就職先から卒業生状況の聴き取りを行っている。	なし	・就職一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の就職先との面会などの機会がある際に得られた情報は、学科教員間で共有している。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	把握するように勤めている。	就職先の施設と情報交換を行い、卒業生の様子などを伺う機会を設けている。	なし	卒業生就職先一覧データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生全員の社会的評価を正確に把握できるように今後も就職先の施設との密接な信頼関係を構築できるよう取り組んでいく。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業後の就職先を把握している。	就職活動進捗リストを作成し、就職先を把握している。	離職後の行動を把握しきれていないこともあり、SNS を用いて学生との情報交換を検討していく。	就職活動進捗リスト 就職先一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の就職先を把握していき、学科教員間で情報共有している。また、資格試験などのアシスタントとして出講も依頼している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	-----------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	把握するよう努めている	就職後、状況確認をしているが、卒業生より報告してくれることが多い。 また、活躍している状況報告を下さる企業様もあり、継続して求人票をいただくケースが増えている。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の活躍状況など含め状況把握を行っている。	結婚・進路変更や、連絡がつかなくなった卒業生もいるため全員の把握はできていない。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	把握することが重要である	現状把握できていない	調査する必要がある	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
留学生の進路は多岐にわたるため、把握はなかなか難しいが、できるだけやっつけていこうと思う。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

D Oビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	社会での活躍は教育の成果であると考え、定期的に卒業生へ連絡をし、状況を確認する	就職先企業への連絡や面談を通し、卒業生の社会的評価を確認し、活躍している様子を在校生へ紹介している	転職や母国への帰国等で後追い出来ない場合も多い	卒業生就職先一覧データ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生全員の社会的評価を把握することは難しいが、できる限り正確に把握するよう取り組んでいく。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

基準 5 学生支援 【平均評定：3.6】

5-16 (1/1)

5-16 就職等進路

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	担当者を設置し、学年ごとに進路希望に対する対応を行う。	担当の教員を設け、進路相談、マナー講習会を実施している。又、履歴書の確認、面接練習などの支援も行っている。	なし	学科会議議事録、就職一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関連する業界等と就職に関する連携体制を構築している。積極的に企業説明会への参加を行っている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 社 由洋
--------	-----------	-------	----------

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職率 100%を目標とする。	学科に就職担当教員を2名配置。	面談や求人ファイリングだけでなく、学生及び企業との面談を通じ、ミスマッチを軽減する。	キャリアサポートセンター資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学科に2名の就職担当を置き、学生及び企業への対応を行う。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職をはじめとする進路支援を充実させるために、組織の体制を整備する。	求人票の掲示や面接練習、履歴書の確認など、就職活動を支援する取り組みを行っている。	学生の進路相談等を早期に行う。	病院案内パンフレット 求人票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職を含む進路支援の一環として、求人票の掲示や面接練習などを実施し、組織的な体制を整備する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	進路支援のための組織体制を整備する。	就職担当教員1名配置している。 履歴書作成や面接指導などを実施している。	なし	なし

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
進路支援のために就職担当教員を1名配置し、教員間での情報共有を図りながら、履歴書作成や面接指導を実施する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 互
--------	-----------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職など進路支援のための組織体制を整備する。	就職担当教員を決め、組織体制を整備している。またゼミ活動も活用している。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職など進路支援のために就職担当教員を決め、組織体制を整備している。また、ゼミ担当教員が個別指導を行っている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学生が就職活動に対して不安なく臨めるよう支援する	学校求人に関する就職面接の仲介は必ず教員が行い、学生が安心して面接試験を受験できるような体制が整っている。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・就職調査票 ・就職指導用資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
進路希望調査を行い、求人内容や特色についての情報提供や面接練習、履歴書確認等について随時個別対応を行っている。業界や就職に関する情報は、学科会議内で共有している。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	国際事業部と担任が連携し就職支援を行う。	早期より介護施設等と連携を取り、アルバイト雇用から就職につなげるための取り組みを行っている。	学生一人ひとりに合った就職指導が必要となるため、学校で施設合同就職説明会を実施する。	施設求人票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率 100%を達成するため、早期より就職へ繋げるための介護施設に協力いただき支援を実施している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職希望をする学生に対し、教員を配置しており、100%の就職率を目指している。	学科会議で学生の就職活動の状況を共有している。よって、どの教員にも進捗状況をみえる化している。	資格試験の影響で就職活動に関する動きが遅い。そのために、就職活動の開始時期を見直していく。	就職活動進捗資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学科教員を就職希望の学生らに対して配置し、就職活動をサポートしていく。また、履歴書作成、面接試験のサポートも実施している。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	-----------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職説明会参加や求人票を見て方向性を決める	就職説明会への積極的な参加の推進と、求人票はファイリングし自由に閲覧できるようにしている。 履歴書のアドバイス・面接の練習などを行っている。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職説明会参加から面接までの支援体制を整えている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学生一人一人の進路、希望を確認し、それに適する情報の共有や、情報の得方の指導、書類記入の指導を行う	担任を中心として、学生の面談、書類記入などの受験のサポート指導を行う	きめ細やかなサポートが必要なため、指導側の負担が大きく、学生自身でできるようになる指導を心がける	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
元々日本の学校や就職先などの知識をもっていないため、面談やアンケート通して、希望する学校や職の解像度を高められる指導が必要になる。何よりも自身の未来は自身で考えるという基本的なところからの指導を大事にする。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

D O ビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学生には、1年次から就職活動への意識を持つように取り組ませ、担任を中心に、学科全体で就職支援を行う	早期より履歴書やエントリーシート、面接の指導を行い、円滑に就職活動が進められるように努めている	全学生が日本で就職するために来ているため、ひとりひとりへのサポートと同時に、新規企業開拓も必要となってくる	就職指導についての資料 就職活動の記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本年度も就職率100%を達成するため、早期より就職指導を実施している。引き続き、教員一丸となって取り組み、進路相談をはじめ、学生が就職活動に集中できるような体制を整備していく。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

5-17 中途退学への対応

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学率 0%、進級・卒業率 100%を目指す。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握する。	なし	進級判定会議・卒業判定会議資料、学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握する。その後、学科会議内で共有、教員間で改善案の話し合いを行っている。 またFD委員会にて、退学率の低減を目指し、勉強会の開催が行われている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 社 由洋
--------	-----------	-------	----------

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が 図られているか	退学率0%を目標に掲げて いる。	担任・副担任との面談実施。 学業面での補習や寺子屋体 制。	担任・担任では対応できない 案件。 カウンセラーの先生が対応。	学生便覧、退学状況の分析記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学習面での支援及び学校生活面でも担任・副担任が支援する体制を取ってい る。	カウンセラー教員の対応可。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	中途退学の低減に向けた学内における連携体制を構築する。	試験実施後等、成績が低い学生に対して担任による面談を行っている。また学内での専任カウンセリングを実施している。	面談は教員 2 名体制で行い、退学の意向がある学生の早期抽出のため、学生や保護者との定期的な面談を実施する。	カウンセリング集計

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生や保護者との定期的な面談を実施し、退学を検討している学生を早期に特定することで、中途退学の低減を図る。	なし

最終更新日付	令和 7 年 3 月 3 1 日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	------------------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が 図られているか	学生の学校生活状況を把握する。	定期的な学生面談を実施後、 保護者との連携を図っている。 個別の学習支援を実施。 退学率軽減のため教員研修 を実施。	精神面での支援が必要な学 生の対応 スクールカウンセラーへの 引継ぎ	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績不振による中途退学低減に向けて、個々に応じた学習支援（学習方略・ 援助要請）を実施する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 互
--------	-----------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での指導体制を整備する。	定期的に担任やゼミ担当教員が面談を実施している。	今年度は退学率の低減が図られてきているため、今後も定期的な面接の実施、学習指導の充実を図る。	面談報告書 カウンセリング集計 退学者集計一覧(管理者会議資料)

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
定期的に担任やゼミ担当教員が面談を実施しており、退学率の低減が図られてきているため、今後も定期的な面接の実施、学習指導の充実を図っていく。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	入学者全員が卒業することを目標としている。	入学時、定期試験後、年度末成績確定後など、面談の機会を設けている。面談は担任および学科長で行う。	1年次単位未修得による退学防止が課題。学習支援をおこなっていく。	面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学防止に努めているが、1年次での成績不振による退学者が増加傾向にある。自己効力感を向上させるべく、分かりやすい授業、個別の学習支援、良好なコミュニケーションに対するアプローチを図っている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が 図られているか	学生が抱える悩みを相談できる よう担任や教員で支援する。	面談や日頃から声がけを行う などして、状況を把握するよう に努めている。	学生の経済状態や生活環境な どを把握し、問題が生じた場合 の対応について学生と一緒に 解決方法を考えて行く。	面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学習面・生活面において、教員ができる限りの支援を行うように取り組んでいる。国際事業部と学科で情報の共有を行い、正しい対応をするよう努めている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が 図られているか	入学した学生全員を卒業させていくことを最大の目標としている。	年2回の面談、週1回のスケジュール表の提出により学生の変化を見逃さないようにしている。	本学科への入学した目的を見失わないよう、スケジュール表を用いて確認している。	スケジュール表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生らの変化を見落とすことないよう、スケジュール表を用いている。また、年2回の教育面談を実施しているうえで、学習状況を中心としたヒアリングを実施している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	-----------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	人と関わるきっかけ作りや、コミュニケーション能力の向上の学習の工夫。	<p>個人の願望を明確にし、様々なゲームやサロンシミュレーションを通して、クラスメイトとの関りを深めている。</p> <p>個別面談にて不安要素や生活リズムの確認をしている。</p> <p>併学生は併学先の担任と情報共有し対応している。また、保護者にも電話や面談にて情報共有や意見交換を行っている。</p>	人との関りが得意ではない学生の場合、実技は補講や課題提出で対応する場合もある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
願望の明確化と、コミュニケーション能力の向上。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が 図られているか	学生の勉強面だけではなく、 生活面、金銭面に関する悩みな どの話を含めた相談をうける	普段のコミュニケーションに 加え、面談を実施している	表面化しにくいことも多いの で普段からの声掛けを意識す ることが大事	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の悩みや相談を教員間で共有し、学科だけではなく、他部署との連携を強化することが大事。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

D O ビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が 図られているか	面談時間の確保や日々の声かけなど、学生が抱える悩みを相談できる関係構築に努める	学習以外の生活面や経済的状況など、多面的に判断・配慮し、適切な対応を心掛けている	なし	面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学習面・生活面において、教員の出来る限りの支援を行うよう学科全体で取り組んでいる。今後も、情報の共有を徹底し、適切な対応をするよう努めていく。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

5-18 学生相談

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	専任カウンセラーの配置等し、体制を整えておく。	相談室の設置、学生に対して、相談室の利用に関する案内を行う。	なし	カウンセリング案内文書、面談記録
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	該当なし	該当なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
定期的に各担任による個別面談の実施、必要に応じて、相談室利用の案内、サポートを行う。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 社 由洋
--------	-----------	-------	----------

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	担任・副担任、カウンセラーの先生を置く。	担任・副担任、カウンセラーの先生が対応している。	生活面に関する事項も増えてきており、カウンセラーの先生に対応をお願いしている。	校舎内掲示
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任・副担任及びカウンセラーの先生により学生相談体制を整備している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備する。	学校専任でのカウンセラーの配置を行っている。	カウンセラーと担任との連携を行う。	カウンセリング集計
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生相談において専任カウンセラーの配置を行い、支援体制を充実する。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	担任・副担任 2 名での相談業務を実施している。専任カウンセラーによる体制を整えている。	定期的な面談を実施している。カウンセラーを配置している。	なし	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任・副担任及び専任カウンセラーにより学生相談への支援体制を図る。	なし

最終更新日付	令和 7 年 3 月 3 1 日	記載責任者	学科長 杉本 互
--------	------------------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備する。	専任カウンセラーを設置している。	タイムリーな対応ができるようにしていく。	カウンセリング集計
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	該当なし	該当なし		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専任カウンセラーを設置し、学生へ個別の対応を行っている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	適切に学生の相談に対応できる組織体制を整備する。	相談内容に応じて学科の全教員で対応できるようにしている。またカウンセリングを利用できる体制を整えている。	なし。	・カウンセリング案内
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任教員が日常的に対応することに加え、状況に応じて学校専任のカウンセラーも対応している。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	担任を中心とした相談体制、学生が話しやすい環境づくりを行う。	担任をはじめ教員全員が相談に対応できるように情報共有を行い、体制を整えている。	学習面・生活面で様々な悩みを持った学生が相談しやすい環境を作る。	面談記録 学科会議議事録
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	担任を中心とした相談体制を整えている。	専門知識を持った職員や外国人スタッフを配置し、生活支援を行い、外国人相談窓口などのポスターも掲示している。	なし	面談記録 学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生個人の日常生活の状況を把握し、学生が相談しやすい環境づくりを整備する。問題が生じた場合には、専門知識を持った職員と連携し適切な対応をしていく。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	担任が窓口になり、学生の相談に対応する体制を整えている。	相談内容によっては、学内のカウンセリングを受けるように説明している。	カウンセリング内容をどこまで共有していけばいいのかが難しい。	学生動態表
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	留学生の在籍なし。	特になし。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任および学内カウンセラーが協力して、学生相談体制を整えている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	-----------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	学校カウンセラーへの予約の案内や推奨の実施。 教員による個別面談の実施。	学校カウンセラーによるカウンセリングは、早めに予約しないと希望日時が取れない。 教員への相談は随時受け付けており、声掛けも行う。	学校カウンセラーへの予約は早めに行う。 教員は、日頃より学生の表情や変化を見逃さないよう目配りを行っている。	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	留学生は在籍していない。	なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校カウンセラーへの予約の案内の実施、個別相談は随時受け付けている。 留学生は在籍していない。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	担任、留学生生活全般に対応する部署と連携し、勉強面、生活面に関する相談に対応できる体制	学科、留学生生活全般に対応できる部署と連携し、対応にあたっている	把握しきれていないこともあるので、より連携を強化していく必要がある	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	担任、留学生生活全般に対応する部署と連携し、勉強面、生活面に関する相談に対応できる体制	学科、留学生生活全般に対応できる部署と連携し、対応にあたっている	把握しきれていないこともあるので、より連携を強化していく必要がある	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者が日本にいないことや日本語でまだ気持ちを伝えられない学生も多いので、本人が抱える悩みも深刻な場合でも察知するのが難しい場合もあるので、関係部署との連携、通訳を駆使して学生が安心して留学生活が送れるようになっていきたいと思う。国籍も多様になり、様々な問題も出てくると思うが対応できるような体制にしていかなければならない	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

DOビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	担任を中心とした相談・報告体制と同時に、学科全体で問題に対応できる環境を整備し、学生に示す	担任をはじめ、教員全員が相談に対応できる体制であることを教員間での共通認識にしている	なし	面談記録
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	担任を中心とした相談体制を整えている	専門知識を持った職員や外国人スタッフを配置し、生活支援等を行っている	なし	面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
状況や気持ちを的確に伝えられない学生も多い中、日々の声かけや各担任を通じた面談等により、早期の察知、状況確認を行うよう努めている。引き続き、情報共有を徹底し、専門知識を持った職員や部署と連携し、適切な対応をいっていく。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	公的機関の支援制度及び奨学金制度以外で、独自の支援制度にて入学時の負担軽減	公的機関の支援制度及び奨学金制度を随時案内。 入学時の負担軽減処置のため、分割支払いなど	なし	文部科学省高等教育の修学支援新制度 日本学生支援機構 給付・貸与奨学金案内
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	保健室の整備、医療機関の併設により学生の早期受診	系列のクリニックにて健康診断の実施	なし	
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	健康、運動などトータル面でサポートできる体制づくり	食事付寮などの案内 学校運営のジムを開放 クリニック受診料補助	なし	ドーマー学生寮案内
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	セミナー開催や、学生のセミナー参加への費用補助 ボランティア活動への参加	国際志学園主催のトレーナーセミナー参加費援助 行政主催やその他医療・スポーツ関係のボランティア活動への参加補助	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経済的支援体制で、学校法人国際志学園の奨学金制度や、入学時の負担軽減処置として入学金・学費の分割後納契約制度を実施している。今後も支援体制を継続していく。	校舎にクリニックを併設して、健康診断などが受診しやすい環境を整えている。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学生部長 石井 勇一
--------	-----------	-------	------------

5-20 保護者との連携

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	保護者との連携体制を構築する。そのための取り組みを行う。	入学後、保護者説明会を実施し、学科・資格・学校生活についての説明を実施。その後、担任を通じて、定期的に連絡を取る。	各学年で実施を検討している。	保護者説明会案内文書、学生面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者説明会（合同説明会）を実施すると共に、学生の成績・学校生活面における状況については、各担任より定期的な連絡が行われている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 社 由洋
--------	-----------	-------	----------

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	保護者との連携	学生の状況を必要に応じて、保護者に連絡している。また、前期後期の定期試験ごとに成績の送付している。	個人情報。 個人情報に留意しながら、保護者との連携を強化する。	動態簿、学生指導

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
クラス担任を介した保護者との連携強化。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	保護者の理学療法士に対する職業理解を促す	保護者オリエンテーションを実施している。	なし	保護者オリエンテーション案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年、保護者オリエンテーションを実施し、学事内容や理学療法士の職業に対する理解を深めてもらう。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	国家資格取得に向けて単位修得状況の連絡及び保護者の作業療法士に対する職業理解を促す。	学生状況に応じた保護者への連絡、面談を実施している。成績表を郵送している。説明会を実施している。	なし	各学年説明会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任を中心に保護者との連携及び職業理解の促進を図る。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 亙
--------	-----------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	保護者会を通して、学科の教育方針・教育方法等を知ってもらう。	年に1回保護者会を開催し、状況報告等を行っている。また、定期的に学生の状況について報告している。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年に1回保護者会を開催し、状況報告等を行い、保護者の看護学科の教育への理解を得られるようにしている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	保護者との信頼関係の構築し学習支援を行う	1年次、3年次に個人懇談を実施している。必要に応じて保護者に電話連絡をして、学生についての情報共有をしている。	なし	・面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人懇談にて学生の学習面、生活面について情報共有・意見交換を行っている。保護者と面識を持つことで、生活背景や家庭環境の様子を伺い知ることができ、学生を支援するための情報として役立っている。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	学生の出席状況や成績、健康管理など定期的に保護者に連絡する必要がある。	留学生に関しては同居している家族を交え面談を実施、また日本人学生に対しては保護者を交え担任との三者面談を行っている。	なし	面談記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の学習状況や出欠状況等に問題があれば、保護者に連絡を行い、情報が共有できるような体制を構築していく。また、留学生に対しても緊急な場合は同居家族（配偶者・親族）を交え面談を継続して行う。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	保護者からの協力を得られるよういつでも連携が図れる体制を整えている。	学生の出席状況に問題があれば、連絡している。年2回は、成績表を保護者へ郵送するようにしている。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学習状況・出欠席状況等に問題があれば、速やかに保護者へ連絡していく。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	-----------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	保護者も学校での学生の現状を把握できる状況を構築する	欠席・遅刻数が増えつつある場合、またはコミュニケーションがとりにくい学生の場合は、保護者へ連絡し、改善方法を一緒に考える。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
電話連絡・保護者面談の実施	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	各学生の母国の両親とつぶさに連絡を取るというのは現実的に難しいところもあるので、連携が必要な場合はすぐに連絡を取れる体制をとることが大切である	学生に関して必要な場合は、母国語ができる人を通じて、連絡、相談ができるようにしている	関係部署との連携を強め、すぐに対応できるようにしていく	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
基本的には学生自身で考え対応してもらうことが多くなるが、緊急時には連携がとれるよう、現地と連絡できる部署との協力体制を構築していく。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

D O ビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	学生の出席状況や成績、健康管理など定期的に保護者に連絡し、面談等を実施する	留学生の保護者に対しては、関連部署との連携を強め、必要な場合には、連絡・相談できるようにしている	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関連部署と連携し、学生の学習状況や出欠状況等に問題があれば、母国の保護者に連絡を取り、情報が共有できるような体制を構築している	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

5-21 卒業生・社会人

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	卒業生に向け、卒業後も支援できる体制を整備する。	学校同窓会の設置、KMS サポート（専用のコミュニティSNS）を通して、勉強会・セミナー、研修会を実施する。	内容の充実化を図る。	KMS サポート案内用紙
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	臨床実習を通して、各企業との連携を取り、再教育プログラムの開発に取り組む。	臨床実習を通して、各企業との話し合いを実施し、教育プログラムの考案を行っている。	内容の充実化を図る	学科会議議事録
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	外部との連携を図り、求められるニーズの内容を把握し、教育に反映させる。	教育課程編成委員会や臨床実習会議を実施し、学校に求められる技術・知識・人間性を把握、学校教育に反映させる。	なし	教育課程編成委員会議事録 臨床実習会議資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
臨床実習が始まった事により、外部企業や卒業生の就職先企業との連携がとりやすくなり、定期的な話し合いができています。その中でプログラムの開発に取り組んでいる。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 社 由洋
--------	-----------	-------	----------

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	就職活動の活用	卒業生でも就職活動のため求人閲覧等を可能としている。	閲覧場所について。鍼灸学科フロア以外に職員室に保管した求人一覧の閲覧を可能にしている。	キャリアサポートセンター資料
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	卒業生への学会・研修会への案内および参加	卒業生へは、ListJ を介して、継続学習機会・つながりを提供。	会員の登録率。卒業式で案内をしている。	公益財団法人日本健康スポーツ連盟 ListJ HP
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	学生のニーズに応じた環境整備の実施	各学年での面談を実施し、その中で学生の要望等を聴取している。	面談期間以外での対応。担任制を実施しているため、都度担任が対応する。	鍼灸学科学生指導

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ListJ による卒業生への支援体制の強化、卒後教育の一環として、研修会などの案内を情報として提供、また学生面談を通じた学生ニーズの聴取を行う。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	卒業生に対する研究支援を実施する。	卒業生の進学に関することや臨床研究などの相談を受け付けている。	教員が実施している研究活動への共同参加などの依頼を行う。	学術報告会
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	卒業生に対する技術研修を実施する。	国際学園にて実施している研修を受講できる体制を構築している。	なし	Listj 会員制度
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人学生の入学動機を確認し、学修支援体制を構築する。	授業時間外の時間を使用して学習支援を行っている。	なし	時間割

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生への継続的な学習支援を行うとともに、社会人学生に対する学習支援体制の充実を図る。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	個別での再就職支援や相談に対応している。	求人案内の提供や業務遂行のためのアドバイスを実施している。	卒業生全体に向けた研修会の実施	求人票
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	卒業生へ学会、研修会への案内をしている。		学校内での研修会の構築。	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人学生の学習支援体制を構築する。	学業を遂行する上での定期的な面談と学習支援を実施している。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生への就職や学習支援、社会人学生に対する学習支援を実施する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 亙
--------	-----------	-------	----------

護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	国家試験不合格者及び卒後の指導体制を整備する。	国家試験不合格者については、聴講生制度や学習指導、国試模試の受講など、個別対応を充実させている。	なし	聴講生制度について 聴講生証
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	Listj の卒業生の研修制度を活用する。	在学中から Listj の活用について説明し、卒業後も活用できるよう紹介している。	なし	学生便覧 Listj 制度
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	面談にて個別の支援方法を検討する。	定期的に担任が個人面談を行い支援している。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
国家試験不合格者については個別対応を充実させている。社会人学生についても個人面談等で支援している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	聴講生制度 KMS サポート等の制度に則る。	卒業後も希望する者については、科目履修や KMS サポートを継続して受けることができる旨を案内している。	なし	・聴講生制度 ・聴講生志願書
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	設定していない。	福岡県歯科衛生士会が企画する新人研修会の企画運営に専任教員が参画している。また卒業時に同研修会の紹介を行っている。	学校独自の再教育プログラムの開発・実施は厳しいため、引き続き福岡県歯科衛生士会と連携し、卒後研修の紹介を行い、参加を促す。	・福岡県歯科衛生士会卒業生説明資料
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	専門性の高い教育を提供する。	大学等で既に修得した単位については、既修得単位の認定を行っている。	なし	・学生便覧 ・既修得単位認定願

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
無料就職斡旋を受けられる等の支援を行っている。社会人入学者も増加しているため、社会人は歯科助手を経験している者も多くいるため、個人のレベルに合わせて可能な限り対応している。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	卒業後の相談や求人、キャリアアップ等の支援ができるような体制づくりが必要である。	定期的に卒業生への連絡や、就職先へ卒業生の状況を確認している。	転職や生活面の支援体制を国際事業部と連携し強化していく。	卒業生アンケート
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	産学連携による卒業後の再教育プログラムは重要な取り組みであると考え、今後、卒業生に対し、開発・実施したいと考えている。	卒業生への学習の場・再教育の場が提供できるよう就職先の施設と連携しながら体制づくりを行う。	再教育プログラムの取り組みを検討する。	なし
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人への学習の場を提供することは重要であると考え。	介護施設で働いている技能実習生・特定技能1号の外国人に対し、スキルアップ講座を実施。	常に社会人のニーズの情報を収集し、教育ができるよう環境を整備する。	スキルアップ講座講義資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係部署と連携しながら卒業生への支援体制を強化していく。卒業生や社会人に対して、可能な限り支援を実施していきたい。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	在学中に資格取得できなかったものがあれば、資格取得までサポートしていく。	資格試験対策、現場実習等の提供を実施している。	就職後の資格取得においては、時間制限があるため、一部の学生の利用しかない。	KMS サポート案内
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	卒業後の再教育の開発・実施において資格取得後の指導力向上を目指していく。	現状、連携する機会を設けられていない。	研修会、講演会などの機会、資格更新の講演会などの情報を提供していく。	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人のニーズを考慮している、資格取得していけるようなサポートをしていく。	現状、入学前に取得している資格を確認し、必要に応じて既修得単位として単位認定している。	社会人入学者らが、何を求めているのかを再確認する必要がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
社会人入学者の経験を踏まえ、よりよく資格取得しているようなサポート体制を整えていく。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	-----------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	卒業後も相談を受ける体制は整えている。	再就職先の相談を受け、企業様を紹介し採用された。	なし	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	Listj は在学中から周知している。	Listj は入学前より内容の説明をしており、在学中は活用している。	なし	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	整備できている。	社会人が毎年数名入学し、優秀な成績で卒業している。	高年齢の場合、体力が必要なものは考慮し課題提出などで補う。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生・社会人のその時々々の相談やニーズに応える準備は整えている	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	進路先を確認、共有し、その後の就職先まで把握し、今後の指導に生かしていく必要がある。	進路先は把握しているが、その後の就職先などの調査まではできていない。	卒業生との連絡を強化し、今後の進路指導にいかしていきたい	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	なし	なし	なし	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	生活等で必要な日本語の学習をさせる	生活で使用する日本語を授業で教えている	あらゆる場面で実践的な日本語を教授できるよう努める	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日本社会でニーズが高まる中で、活躍できるよう教育、サポートをしていきたい。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

DOビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	卒業生に向けて、卒業後もキャリアアップ等の支援ができる体制をつくる	定期的に卒業生へ連絡を取り、転職や生活面での状況を確認している	内容の充実化を図る	卒業生アンケート
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	資格・検定の取得やスコアアップ等、卒業生の再教育プログラムを開発・実施する	講義・セミナーや研修を通じたキャリアアッププログラムを提供できるよう検討している	プログラムの開発と実施及び、周知	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人、また、在留外国人への開かれた学習の場であると同時に、日本社会で活躍するための知識・技術・教養を提供する	社会情勢や業界ニーズを把握し、社会人、また、在留外国人の日本社会でのキャリア構築を後押ししている	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関連部署と連携しながら、卒業生への支援体制を強化している。また、社会人や在留外国人への開かれた教育の場の提供を視野に、可能な限りの支援を実施していく。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

基準 6 教育環境 【平均評定：3.4】

6-22 (1/1)

6-22 施設・設備等

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	教育上必要な設備・教育用具を過不足なく整備する。	前準備を十分に行い、学生が学ぶ上で必要な教材、設備、教育用具を揃える。	なし	教材一覧表、学科保管用教育用具一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学年末に設備・教育用具の点検を行い、十分な設備環境を取れるよう、準備している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 社 由洋
--------	-----------	-------	----------

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	十分な施設及び設備を整備する。	養成施設指導要領に定められた器械器具、標本及び模型、図書並びにそのたの備品を備えている。	多様性への対応。 黒板、スクリーン、WiFi の設置。	学校設置認可申請書、教室配置図、時間割、専修学校報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
養成施設指導要領に定められた器械器具、標本及び模型を講義の中でも使用し、図書室も図書閲覧として使用できる。トレーニングスペースを設置している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	学校指定規則に基づき、施設・設備・教育用具などの整備を行う。	指定規則に則り、施設・設備・教育用具などの整備を行っている。	なし	学校指定規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校指定規則に記載している施設・設備・教育用具等を整備する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	指定規則に記載している施設、設備、教育用具等を整備している。	指定規則を遵守した施設、設備、教育用具等を整備している。	なし	校舎用途変更対照表 備品台帳 図書台帳

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校指定規則に記載している施設、設備、教育用具等を整備する。	学校独自の機器を整備（デジリハ、ロボットスーツ、3Dプリンター等）。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 互
--------	-----------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」をもとに整備する。	「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」を確認し整備している。	なし	看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」を確認し整備できている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	歯科衛生士学校養成所指定規則に則る。	指定規則を遵守し、施設・設備・教育用具等を整備している。	なし。	学校指定規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
歯科衛生士学校養成所指定規則に記載されている施設・設備・教育用具等を整備している。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	ある程度の教育上、必要な施設及び設備は整えているが、十分とは言えない。今後も満足に行く補充を検討する必要がある。	実技に必要な設備に関しては最低限そろえることができているが、補充が必要。	演習が行える部屋はあるが、全ての演習が行えるものではないため、授業に取り入れられない演習は介護実習現場で体験させていただく。	学科備品一覧表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備に関して、十分に整備できているとは言えない。学生が満足することができる講義・実技等を行っていくためには、備品の確保や実習現場との連携の必要がある。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	教育上に必要なものについては、計画的に準備していき、非常勤講師からの要望も柔軟に対応している。	必要に応じて、必要な教科書、備品、機器などについては、早急に購入しており、授業が円滑に進むよう準備している。	なし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格認定校の認定を受けるために必要な備品を準備している。	特になし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
---------------	-----------	--------------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	整理整頓、清潔感を重視している。 必要な備品消耗品などの事前準備を徹底している。	特に実技に関する備品・消耗品類は整理整頓し学生も分かるようにしている。不足分は直ぐに補充可能である。 使用したバスタオルは毎回洗濯し清潔にしている。 室内の清掃も徹底している。	教室内で空調が当たりすぎる場所があり、特に夏場は暑がりの学生は席替えをするなどの対応をした。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
必要な設備・備品・消耗品は事前準備をしている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	教育上必要十分な設備、教育用具を整備する必要がある	必要なものが揃っている	古くなっていたり、傷んでいるものもあるので必要に応じ買い替えなければならない	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今あるものを大切に使いつつ、教育に関するものには惜しみなく交換、新調などし、環境を整えていきたいと思う。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

DOビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	教育上十分な施設及び、設備を整備する	企業やホテル・ウェディング会場等の施設にご協力いただき、実践的な教育が提供できるよう努めている	学生数の増加に伴い、協力企業・施設の開拓が必要	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備に関して、十分に整備できているとは言えないが、企業などと連携し、今後も学生が満足する講義・実技等を行っていきけるよう努めている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

6-23 学外実習、インターンシップ等

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習・インターン等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用・実施する。	学科教員・学生主体となって計画、参加している。	なし	臨床実習指導要綱、臨床実習会議資料、学外研修会案内資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度開始時に実施要項やマニュアルについての内容検討・修正が行われている。また実施要項に基づいて、充実した学外実習やインターンシップが実施出来ている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 社 由洋
--------	-----------	-------	----------

鍼灸学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	解剖学実習への参加	毎年2年生が解剖学実習への参加をしている。	体調不良学生の対応。教員が引率し対応する。	実習手引き

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人体に対する知識を深めるだけでなく、医療人としての心も学ぶ機会になっている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 馬男木 亨
--------	-----------	-------	-----------

理学療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習について、異議や教育課程上の位置づけを明確にし、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用する。	臨床実習指導要綱に明文化し運用している。	なし	臨床実習指導要綱

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外実習の異議や教育課程上の位置づけを明確にし、実施要綱とマニュアルを整備して適切に運用する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 永野 忍
--------	-----------	-------	----------

作業療法学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習の意義や教育課程での位置づけを明確にし、実施要綱やマニュアルを整備、適切に運用する。	実習施設との連携を図るため、会議を実施している。臨床実習指導要綱を作成している。	臨床実習以外で臨床教育を実施する科目を増やす。	臨床実習指導要綱 シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外実習の意義や教育課程での位置づけを明確にし、実施要綱やマニュアルを整備、適切に運用する。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 杉本 亙
--------	-----------	-------	----------

看護学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	臨地実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にし、実習要綱・指導要綱を整備して適切に運用する。	実習要綱・指導要綱等を整備し明確にしている。	なし	臨地実習要綱

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
臨地実習について、実習要綱・指導要綱等を整備し運用している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 小山 京子
--------	-----------	-------	-----------

歯科衛生学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	歯科衛生士学校養成所指定規則に則る。	教育効果の向上を目指すためには、実習指導要綱、実習施設については年度毎の見直しを行っている。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨地・臨床実習要綱 ・ 臨床実習先一覧表 ・ 実習施設契約書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
歯科衛生士学校養成所指定規則に掲げられている「臨地実習の教育実施上の留意事項」および「実習施設に関する事項」に沿って学外実習を整備している。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 中島 紀子
--------	-----------	-------	-----------

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	実習やインターンシップは専門知識と技術を修得する良い機会であり、就職先を考える際に重要なものだと考えている。	学外実習とインターンシップの実施体制は出来ているが、海外研修などの実施体制の整備は出来ていない。	実習は単位取得のため必須だが、インターンシップは行っているものの、現在日本人学生しか行っていないため、留学生にも積極的に行えるよう環境を整えていく必要が有る。	実習の手引き シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>実習に関して、実習前指導を行い実習の意義や目的を伝えるようにしている。実習の際に実習施設からいただいた評価を学生へ伝え、勉強意欲や就職意識の向上につなげていきたい。</p> <p>また、インターンシップについても留学生が行えるよう検討していく。</p>	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 石橋 真由美
--------	-----------	-------	------------

アスレティックリハビリテーションスポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	積極的に学外実習を実施していき、学生らの経験値を高めていくことを意識している。	世界大会、地域レベルといった幅広いスポーツイベントに参加し、救護スタッフ、ストレッチ指導などを行っている。	AEDの取り扱い、ストレッチなど指導力の向上を図っていくために授業展開を検討していく。	AT 学科実習心得

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
スポーツ現場での経験を高めていき、自分の課題を把握することで、自らの意志で学習意欲の向上を図っていけるような環境を整備していく。	なし。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 寺本 敦司
--------	-----------	-------	-----------

整体セラピスト学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習として鍼灸整骨院・整体院における臨床現場実習にてセラピストとしての在り方を学ぶ 地域のイベントでの整体ブース出展	学生は実習の自己評価や感想文の提出、現場実習担当者からは実習評価を提出してもらっている。 整体ブースでは、施術だけでなく社会人能力・コミュニケーション能力の向上を図る	学外における整体ブースでは、学生が対応できない症状の場合は、担当教員が対応することもあるが、症状によっては学生の実習の場であることをお伝えしお断りする。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
臨床現場実習にて在り方を学ぶ	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 蓑田 のり子
--------	-----------	-------	------------

日本語学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	なし	なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 高野 徳一
--------	-----------	-------	-----------

DOビジネス学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習の意義や教育課程での位置づけを明確にし、積極的な参加を促す	実施要項・マニュアルの整備、まだ、日誌などを作成し、ひとりひとりに改善点・反省点を必ずフィードバックしている	協力企業の開拓	インターンシップ規定 時間割

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実習やインターンシップに関して、事前に説明を行い、参加することの目的や大切さを伝えるようにしている。また、実習の際に企業側からいただいた評価を学生へ伝え、勉強意欲や就職意識の向上に繋がるよう努めている。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学科長 久保 佑生
--------	-----------	-------	-----------

6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	法律に基づき、消防計画の作成、運用	計画通りに訓練、消防への申請など実施	各校舎での防火管理者選任が望ましい	九州医療スポーツ専門学校 消防計画
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	防犯カメラなどによる、セキュリティの整備 組織図の整備・更新、報連相の徹底	学校運営の組織図に基づき、緊急時の対応実施	なし	学校法人国際志学園 組織図

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災に関しては、法律に基づき運用している。 設備点検も委託業者など行い連携して取り組んでいる。 今後も防災・安全管理を継続していく。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学生部 部長 石井 勇一
--------	-----------	-------	--------------

基準 7 学生の募集と受入れ 【平均評定：4.0】

7-25 (1/1)

7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	本校の教育活動や育成する人材像を高等学校等に情報をお伝えする。	進路指導部への情報提供のみならず、担任や部活動の顧問の教員への報告等を行って活動をしている。	入学時の案内だけでなく、卒業後の様子が分かる冊子の作成を行っていく。	報告書
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	専各協会の方針に沿った案内を行っている。	明確な記載がある資料の配布をしている。	Web 出願手続き、県外入試の実施計画を行い、受験生が良い環境で受験が出来る体制を整えて行く。	報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
これまでに行ってきた学生募集を継続して行っていく。高校訪問、オープンキャンパス、出張講義等の開催、参加を実施して行く。また、コロナ禍では実施が出来なかったイベントの開催を積極的に行い、より多くの方に業界を知って頂く取り組みも行う。	Web 出願手続き及び県外入試の実施計画を行い、受験生がより良い環境で受験が出来る体制を整えて行く。

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	広報部長 大庭 俊輔
--------	-----------	-------	------------

7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入試選考基準に則り、合否判定を決定	判定基準通りに合否判定を実施している	なし	入試判定結果表
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	基礎学力に応じた授業展開を目指す	入学試験および入学前課題を元にした入学直後に学力試験を実施する	特になし	入試判定結果 入学前課題 入学前課題確認テスト 入学前課題確認テスト成績

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現状の運用を継続して行う	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	学生部長 石井 勇一
--------	-----------	-------	------------

7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	経費内容に対応した学納金を算定する	学納金の算定内容、決定の過程を明確にしている	なし	学生募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	文部科学省の入学辞退者に対する授業料等の取扱いについて（通知）に基づき、募集要項に明示して取り扱う	初年度納付金納入後の入学辞退者に対しては、入学金以外の納付金は速やかに返金手続きを行っている	なし	学生募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現状の対応を継続して行う。	なし

最終更新日付

令和7年3月31日

記載責任者

学生部長 石井 勇一

基準 8 財務 【平均評定：4.0】

8-28 (1/1)

8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	定員充足率の推移を把握し、収支のバランスを図り、中長期的な財政基盤を安定させる。	方針に沿って定員充足率の推移を把握し、中長期的な財政基盤の安定を図っている。	特になし	貸借対照表
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	直近 3 年間の財産目録・貸借対照表等の数値をもとに財務分析を行う。	外部コンサルタントを含めて財務分析を行っている。	特になし	貸借対照表 財産目録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
核施設団体に提出する必要があるものが多く、収支計算書や償還計画など、一年中扱っていることが多い。財政基盤として、学生の確保が最重要課題だと認識している。	

最終更新日付	令和 7 年 3 月 3 1 日	記載責任者	事務局長 西 田 真 紀
--------	------------------	-------	--------------

8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図る。	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定している。	特になし	事業活動収支計算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予讃の執行計画を策定するとともに、適正に予算を執行するためのチェック体制を整備する。	会計士を含めた毎月のチェックを実施している。	特になし	事業活動収支計算書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会を通して予算案の策定発表、また補正予算案等も発表して確認を行っている。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	事務局長 西田真紀
--------	-----------	-------	-----------

8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	私立学校法および寄附行為に基づき、適切に監査を実施する。監査報告書を作成し、理事会において報告する。	私立学校法および寄附行為に基づき、適切に監査を実施している。監査報告書は理事会において報告するとともに、本校ホームページにおいて公開する。	特になし	事業報告書 監事監査報告書 理事会議事録 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
監事による監査はもちろんのこと、会計士とも連携を図り、定期的に状況報告と確認を行っている。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	事務局長 西田真紀
--------	-----------	-------	-----------

8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務公開規程を整備し、公開が義務づけられている事項について、ホームページ等で適切に公開する。	財務公開規程に基づき本校ホームページにおいて公開している。	特になし	本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今後も引き続き情報公開について積極的な公開を心がけるとともに、適正な情報を公開することを前提に作成していく。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	事務局長 西田真紀
--------	-----------	-------	-----------

基準 9 法令等の遵守 【平均評定：4.0】

9-32 (1/1)

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	関係法令および設置基準等に基づいた学校運営を行うとともに、必要な諸届を行う。	関係法令および設置基準等に基づいた学校運営を行っている。	特になし	諸届控

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令遵守を第一義に、規程・規則についても必要に応じて順次、整備を図っている。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	事務局長 西田真紀
---------------	-----------	--------------	-----------

9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報保護安全対策管理規程その他の規程に基づき、個人情報の保護を徹底する。	個人情報保護安全対策管理規程その他の規程に基づいた個人情報の保護を図っている。	特になし	個人情報保護安全対策管理規程 情報資産利用ルール プライバシーポリシー

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の保護については規程に基づいて徹底した管理を行っている。複数サーバーの存在が不正アクセスの侵入口を増やしている原因となっている。不正アクセス防止のためのセキュリティは講じているが、進化する不正アクセスに対するさらなるセキュリティ強化が必要と考えている。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	事務局長 西田真紀
--------	-----------	-------	-----------

9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	各部署において学校評価を実施し、より良い学校運営を目指すこととする。	各部署において自己評価を行って課題を見出し、改善を図る。	PDCA サイクルを活用して前年度の課題に対する取組みの見直しを図っている。	自己点検・自己評価に関する規程 学校関係者評価委員会に関する規
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己評価報告書の完成とともに本校ホームページ上において情報を公開する。	自己評価報告書の完成とともに本校ホームページ上において情報を公開している。	特になし	本校ホームページ 自己評価報告書
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価委員会において自己評価報告書の評価を依頼して改善点を見出す。	学校関係者評価委員会において自己評価報告書の評価を依頼して、改善点等について提起していただいている。	学校関係者評価委員会において提起がなされた改善点につき、優先順位の高いものから順次対応している。	学校関係者評価委員会報告書
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校関係者評価結果は学校関係者評価委員会報告書に取りまとめ、それを本校ホームページ上において公開する。	学校関係者評価委員会報告書を本校ホームページ上において公開している。	特になし	本校ホームページ 学校関係者評価委員会報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年6月に学校関係者評価委員会を開催し、自己評価報告書を評価していただいている。その評価は学校関係者評価委員会報告書に取りまとめ、報告書は本校ホームページ上において情報公開している。	なし

最終更新日付

令和7年3月31日

記載責任者

副校長 味村 吉浩

9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	教育情報について可能な限り本校ホームページ上において公開する。	本校ホームページ（情報公開）に取りまとめるかたちで教育情報について公開している。	特になし	本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育情報として、「教育理念」「教育目標」「専門学校における情報提供等への取組みに関するガイドラインの項目に対する本校の情報提供内容」「新法省令確認申請書」「シラバス」「成績管理の実施及び卒業認定について」「職業実践専門課程認定学科における基本情報」「教員名簿」「授業実施計画」「学校行事・課外活動」「日本語課程修了者の日本語能力習得状況等」等について、本校ホームページ上において公開している。	なし

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	副校長 味村 吉浩
--------	-----------	-------	-----------

基準 10 社会貢献・地域貢献 【平均評定：4.0】

10-36 (1/1)

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	学校施設をはじめ、学科教員の知識や技術を社会貢献や地域貢献へと活かす。	高等学校等へのトレーニング指導など	特になし	学校施設貸与規程 トレーニング指導派遣記録
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	海外教育機関学生の研修受入れを行うなどして国際交流を図る。	海外教育機関学生の研修受入れ	特になし	学校パンフレット

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
近隣高等学校からの要請に応じるかたちで本校教員を派遣して、トレーニング指導等を行っている。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	副校長 味村 吉浩
--------	-----------	-------	-----------

10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	より多くのボランティア活動を学生に経験させて知見を広める。	教務部が窓口となってボランティアの案内、支援を行うとともに、学内でボランティア活動に係る報告の機会を設けている。	特になし	ボランティアスタッフ募集関連受領文書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
外部団体からの要請に応じるかたちで学生をボランティア活動に参加させている。	

最終更新日付	令和7年3月31日	記載責任者	副校長 味村 吉浩
--------	-----------	-------	-----------